

海外子女教育

4
2023 No.602

特集2
海外駐在をめぐり
整理整頓
——ミニマルに暮らす

今月の顔
近藤 祐希さん
WORLD FESTIVAL Inc. 代表

受け入れ校紹介
法政大学国際高等学校

海外校シリーズ
大連日本人学校
ノースショア補習授業校

特集1
「帰国生と英語力」の
デリケートな関係



KAETSU ARIAKE

かえつ有明中・高等学校
国際生教育プログラム



国際生が4人に1人の学校



教育の3つの特色

Deep Learning

Global

Diversity

Honors & Advanced English Levels

- > Philosophy > Language Arts
- > TOEFL/SAT > After School Support
- > Foreign University Support

2024年度 国際生入試予定

[中学入試]

Advanced選考

2023年11月下旬 午前実施

試験科目 英語筆記・英語作文・英語ペアワーク・日本語作文

※英語の授業は、Advancedクラスへの参加になります。

[中学入試][高校入試]

Regular選考

2023年11月下旬 午後実施

試験科目 〈中学入試〉国語・算数

〈高校入試〉国語・数学・英語

※英語は一般的なレベルのクラスへの参加になります。

[中学入試][高校入試]

Honors選考

2023年12月上旬 午前実施

試験科目 英語筆記・英語作文・

英語グループワーク・日本語作文

※英語の授業は、Honorsクラスへの参加になります。

※ 学校説明会・入学試験などの詳細は、
ホームページをご覧ください。

国際生教育
について



国際生入試
について



かえつ有明中・高等学校

〒135-8711

東京都江東区東雲2-16-1

URL: <https://www.ariake.kaetsu.ac.jp>

e-mail: kikitai@ariake.kaetsu.ac.jp

Tel: 03-5564-2161 FAX: 03-5564-2162

JUNTENDO SPIRITS

学 是

仁

人在りて我在り、
他を思いやり、慈しむ心。
これ即ち「仁」

理 念

学 風

不断前進

現状に満足せず、
常に高い目標を目指して
努力を続ける姿勢

三無主義

出身校・国籍・性別の差別なく、
優秀な人材を求め、
活躍の機会を与える

JUNTENDO UNIVERSITY

本郷・お茶の水キャンパス(本部) *Hongo-Ochanomizu Campus*

医学部

Faculty of Medicine

医学科

国際教養学部

Faculty of International Liberal Arts

国際教養学科

保健医療学部

Faculty of Health Science

理学療法学科／診療放射線学科

さくらキャンパス *Sakura Campus*

浦安キャンパス *Urayasu Campus*

三島キャンパス *Mishima Campus*

スポーツ健康科学部

Faculty of Health and Sports Science

スポーツ健康科学科(3年次より6コース制)

医療看護学部

Faculty of Health Care and Nursing

看護学科

保健看護学部

Faculty of Health Science and Nursing

看護学科

浦安・日の出キャンパス *Urayasu Hinode Campus*

医療科学部

Faculty of Medical Science

臨床検査学科／臨床工学科

健康データサイエンス学部^{〔2023年4月開設〕}

Faculty of Health Data Science

健康データサイエンス学科

薬学部^{〔2024年4月設置構想中〕}

Faculty of Pharmacy

薬学科



順天堂大学

〒113-8421 東京都文京区本郷 2丁目1番1号
TEL: 03-3813-3111 <https://www.juntendo.ac.jp>



全学部で帰国生対象の
入学試験を実施しています

ハイレベルの
志望校別対策



双方向Web授業

「海外からも、首都圏の難関校受験にチャレンジしたい…」

詳細・お申込はこちら

そんな方に向けた待望のサービスをスタートします。

これまでに培った「双方向Web授業」の経験とノウハウを結集して、
対面と変わらぬ志望校別対策授業をご自宅で。

講座受講生滞在国内(例)
アメリカ・オーストラリア・シンガポール・タイ・中国・マレーシア・ドイツ



＼早稲田アカデミー オンライン校のココがすごい！／

特長 1

対面と同じように、早稲田アカデミーが誇るトップ講師の「完全志望校別対策講座」を、早稲田アカデミーオリジナルテキストで受講できる。

特長 2

一方通行では伝わらない“熱”を、まるで教室で授業を受けているかのような臨場感を、「双方向Web授業」にて。

特長 3

早稲田アカデミーオリジナルシステム「早稲田アカデミーEAST」を使い添削課題にも対応し、欠席した場合や復習用としてオンデマンド授業映像をご用意。

小1～中3 生徒・保護者様

無料

2023 Web入試報告会 (入試分析映像)

入試の概況・科目分析をWebオンデマンドで、いつでも、どこでも動画視聴できます。

帰国生入試分析 **公開中** (4/28まで)

オンラインでの動画配信となります。
視聴には事前のお申し込みが必要です。

帰国生入試をお考えの生徒・保護者様を対象に、
最新の帰国生入試の傾向や対策について、早稲田アカデミー国際部よりお伝えします。

詳細・お申込はこちら



小4～小6 対象

帰国生専門
λόγος
LOGOS AKADEMEIA

知性 理性 感性
思考力 = 言語能力 × 想像力

早稲田アカデミーが帰国生のためにデザインした、
受験の枠組みを超えた思考力を身に付ける最高級の学習環境。

2023年2月、御茶ノ水に開校

海外生・帰国生教育 法人向けサービス

早稲田アカデミーは、海外在住で帰国後に日本の中学校・高校へ進学予定のお子様を積極的にサポートしています。

海外への赴任前・赴任中・帰国後のお子様の教育に関して、
人事ご担当者様に代わってバックアップ致します。

※入会費・年会費は一切かかりません。

詳しくはホームページをご確認ください。

詳細はこちら



2023年 帰国生合格実績 Webで公開中！



早稲田アカデミー

お申し込み・お問い合わせ・資料請求はお気軽にどうぞ。

お電話で 国際部 +81-3-5954-1161

パソコン・携帯で 早稲田アカデミー 帰国生

検索

海外子女教育

No.602 2023

4

*表紙写真

1年生 9月の月見団子づくり
(ノースショア補習授業校)



大連駅 (中国・大連)

C O N T E N T S

- 2 今月の顔 近藤 祐希さん (WORLD FESTIVAL Inc.代表)
- 4 特集1 「帰国生と英語力」のデリケートな関係
- 13 特集2 海外駐在をめぐる整理整頓——ミニマルに暮らす
- 22 連載 家族／クロスカルチャー
家族で走り抜いた33カ月 (前編)
- 25 子どもの本棚
- 26 ◆受け入れ校紹介～学校会員ファイル(241)◆ 法政大学国際高等学校
- 28 連載 JOES Davos Next
- 29 連載 1都1道2府43県めぐり 福井県
- 30 海外校シリーズ | 大連日本人学校
ノースショア補習授業校
- 34 連載 校歌の広場 ポート・オブ・サクラメント補習授業校
- 35 聞いてみよう！子どもの教育 海外子女教育振興財団 教育アドバイザー 橋本 芳登
—海外赴任が決まりました。日本人学校、インターナショナルスクール、現地校、どう選べばいいのでしょうか。
- 38 みんなの広場
- 39 海外子女教育振興財団 教育相談
- 40 ニュース
○外務省・文部科学省の2023(令和5)年度在外教育等関係予算政府案決まる
- 44 海外子女教育振興財団 2023年度サービスのご案内
- 46 連載 挑戦！にほんごの日本語検定
- 48 連載 漫画「なっとうねばじろうシリーズ」 ギリシャ

*維持会員企業・団体所属のかたはウェブサイト上 (<https://joes-kaiin.jp/joesportal/>) でも閲覧いただけます。
閲覧にあたって必要となるグループIDは、所属先の企業・団体へお問い合わせください。



公益財団法人

海外子女教育振興財団

海外子女・帰国子女教育の振興をはかるために、海外で経済活動を展開している企業・団体によって1971年に外務省および文部省(現 文部科学省)の許可を受け財団法人として設立されました。それ以来、政府の行う諸施策および維持会員の要望に相応じて幅広い事業を行っています。2011年4月1日に公益財団法人に移行しました。財団の事業は、おもに維持会員からの会費によって成り立っています。財団のサービスはどなたでもご利用いただけますが、維持会員の皆様には有料サービスを無料または割引にて提供しています。(維持会員一覧表 <https://www.joes.or.jp/kaiin/>)

音楽と旅と

「音楽って、その場にいる人が誰でもかけがえのない参加者になる理想の関係をつくってくれるじゃないですか」

小学校二年生のときからピアノを習いはじめ、アメリカではジャズバンドで「サクセスが上手なやつ」になることでみんなの仲間入りができた。高校ではドラムを叩いていた。

「楽器一つを道連れに世界を旅しながら生活できたらいいなと思ったこともあります」

高校に入るときに寮生活を選んだのは、早く自立したい、行ったことのない土地にひとりで行きたい、という思いからだった。

仕事も含め、これまでに訪れた国はおよそ四十カ国。観光名所には行かない。誰も知らないような村を歩く。そして、その土地に固有の素晴らしさを見つけると「生まれてきてよかった!」という思いで胸がいっぱいになる。大きな荷物を背負って裸足で山道を下るネパールのおばあちゃんたちの姿は、とても美しい。イラク戦争からの復興を目指すバスの街に住む人々は、誰とでも仲よくなる明るい性格の持ち主が多かった。モンゴルで遊牧民のゲルに居候したときは、「人間、これだけで充足して生きていけるんだ」と思った。メガソーラーで電力を供給しなくても、個人個人の太陽電池でいい。何がなくとも、なければ、人は生きていける。

「なんでもない日常のなかにこそ、ほんとうの魅力が眠っているんです。そこにしかない美しいもの、その場にしかない魅力を見つ



世の中から
関係ないを
なくす

こんどう ゆうき
近藤 祐希さん

WORLD FESTIVAL Inc. 代表

1986年、大阪生まれ。小4のときに父親の転勤に伴いアメリカに渡り、現地校の中学を卒業するまで西海岸オレゴン州に住んだ。その後は単身で東海岸に移り、慶應義塾ニューヨーク学院の寮に入った。慶應義塾大学総合政策学部を卒業後、大手レコード会社で数年働きながらNGOやボランティア活動などに接して独立を決意。「世の中から“関係ない”をなくす」は、代表を務めるWORLD FESTIVAL Inc.のミッションである。

<https://www.worldfestivalinc.com>



けて、表現して、伝えて、それを見る人にも発見してもらう。僕が伝えたいのは、それだけの、そこにしかない幸せなんです」

もちろん、なかには身の危険を意識する必要がある土地もある。

「ここから先は踏み込んではいけないということには敏感です。空間的にこの道を越えてはいけないという目に見えない線も、心理的にこれ以上相手の懐に入ってはいけないという境界も、はつきり見えます。でも、『あなたを警戒してはいないよ、好きだよ』というメッセージを全身で発しながら物理的に近づき、笑い合うと、いつきに友達になれます」

9/11を体験して

アメリカで同時多発テロ事件が起こったとき、彼はニューヨークにいた。その後には続いたイラク戦争を見て、「なぜこんなことになるのだろう」と疑いが膨らんだ。西海岸の現地校ではさまざまな背景の友達がいた。クリスチャンの友達とはいっしょに教会に行ったり、ムスリムの友達の家に遊びに行ったこともある。彼らに起きることは、ひとごとではない。大切な人がいる国は、自分にとっても大切だ。

「互いに相手のことを知らないのに知ったかぶりをするから分断が起る。『関係ない』と思うから、相手を悪く言えるんです。だから僕は互いにほんとうのところを知る『関係』をつくりたい」

彼にとっては日本もアメリカも「よいところも悪いところも知っている大事な国」だ。悪い



2018年、アフリカ・ガーナでの撮影風景。カメラを構えているのが近藤さん。



8年生のとき現地校で。前に出てサクスを吹いているのが近藤さん。

ところについては「バカだなあ」と思いながら、あくまでも親愛を込めた目で眺めている。新しく「いいところ」を発見するとうれしくなる。

「僕は、文化と文化の間にいることが好きなんです。カオスというか交差点。そこにいると居心地がいいし、みんなここに来ればいいと思います。ここにいれば視野も広がるし、視点も増える。異なる文化の人と触れることで互いの魅力を見つける経験をしてほしい」

「関係」を見つけてもらうために

WORLD FESTIVAL Inc.では、世界各地の国際援助や教育支援の現場で映像を撮ってくる人が多い。さまざまな国で近藤さんたちが実施している、子どもたちが集まる「祭り」は、にぎやかで笑顔が素敵。

だが近藤さんは「映像制作会社ではないんです」と強調する。映像や音楽などのエンターテインメントを通じて出会いを生み、橋をかけ、関係ないをなくしていくのがミッションだ。「映っている人の」パワーを感じた」とか、「世の中の見方が変わった」とかの感想がうれしい。だから日常の生活のなかでもそうした感動と出会う場をプロデュースしたい。国内の大手書店や大規模商業施設とコラボレーションしたこともある。「空港や駅で何かできたらいいですね。偶然の出会いで見してもらえれば」と言う。

会社自体が世界各地に拠点を増やし、多国籍の祭りのような、文字通り「WORLD FESTIVAL」になるのも理想の一つだ。

(取材・文 古家淳)

「帰国生と英語力」の デリケートな関係

「帰国子女」に対する世間のステレオタイプなイメージに「英語がペラペラ」「バイリンガル」などがある。何よりもまず「英語」が先に来る。でも、「ペラペラ」が、ほんとうの意味でネイティブスピーカー並みに流暢りゅうちやうに話せることだとすれば、そんな帰国生はむしろ少数派ではないだろうか。さらに、英語と日本語を高いレベルで対等に使える真のバイリンガルとなると、少なくとも自分はまったくと言っていいほど知らない。

このような「英語」にまつわる世間のイメージと現実のギャップに苦しんだことがある帰国生は多いと思う。そこで本特集では、決して英語が得意ではないと自覚している元帰国生の社会人四人にインタビューし、「帰国生と英語力のデリケートな関係」をふり返ってもらった。英語が流暢に話せないことが、はたして帰国生の価値を下げるのか。将来の仕事に差し支えるのか。そして、そこにコンプレックスを感じる必要はあるのか。皆さんといっしょに考えてみたい。

取材・文 内村 浩介

「帰国生の英語力」 深堀りはタブー？

記者として現役学生や若い世代の帰国生にインタビューするとき、英語力に関する質問・記述には特に神経を使う。へほんとうは英語がたいして得意ではない帰国子女Vのひとりである自分自身の経験からも、それが大なり小なりコンプレックスとなるのが、とてもよくわかるからだ。

たとえばインターナショナルスクール出身のある新社会人を取材したとき、こちらが「英語が得意でそれを国際的な舞台で生かしている帰国生Vというステレオタイプな帰国生像を求め、「それに沿った質問ばかりされた」と、数日たつてからクレームを受けたことがある。予断を持ってインタビューに臨むなど帰国生云々以前にやってはいけないことで、自分にはまったくその意図はなく、青天の霹靂だった。さらには自分自身が英語が得意ではない帰国生なのに、そんなステレオタイプを求めるはずがない。

それでも、心の琴線に触れてしまうことがあるのが、帰国子女と英語の関係のデリケートなところだ。思

い返せば、そのときも直接ことばにはなくとも、「インターナショナルスクール出身だから当然英語は得意だね」という態度で接していると思わせたしまったかもしれない。周りから見れば「英語ペラペラ」でも、現地の人やもつと滞在歴の長い日本人と比べてしまい、心の奥底にコンプレックスを抱いていることだってあり得るのだ。

そんなこともあって、特に自己を確立している最中の学生や若い世代の帰国生にインタビューする際は、経歴にかかわらず「英語力」に関する質問にはとても気を使う。しかし別の見方をすれば、「英語力」を掘り下げることが、帰国生への取材のうえで一種のタブーになってしまっているまいか。やはりどこかでタブーに挑戦しなければ、問題の本質は解決できない。あえて「帰国生と英語」のリアルに触れることで、少しでも多くの帰国生のコンプレックスやジレンマを和らげることはできないか。そう考えたのが、本特集を企画したきっかけだ。

今回インタビューしたのは、自分の英語力を客観的に捉え、受け入れられる年齢に達した三十代～五十代の四人。いずれも海外に滞在した時期が幼いころだったり、非英語圏だった

り、英語圏でも日本人学校出身という経歴だ。公平を期すため、そこに筆者自身の経験も加えて筆を進めていく。

ペラペラじゃなくても 仕事や趣味に生かせる

英語をよく使う仕事をしているのに、帰国子女であることをずっと伏せてきたと言うのは、一九七二年生まれの中村賢一朗さんだ。幼稚園の

途中から小学三年生までオーストラリア・シドニーに滞在。現地の幼稚園に少し通い、小学校は日本人学校だった。帰国後は帰国生入試枠こそ利用していないが、英語のみの試験で入れる高校を経て大学卒業後、商社で海外営業を担当するなど、英語力を生かした人生を歩んできた。

「仕事の話なら通じるレベル。海外経験がない人でもできるビジネス英語ですよ」

幼児期に耳で覚えたので、ある程



なかむら けんいちろう
中村 賢一朗さん

1972年生まれ。5歳から10歳までオーストラリア・シドニーに在住。現地の幼稚園と日本人学校に通った。帰国生であることを日本の学校や就職先ではほとんど周囲に意識させないようにしてきた。商社に就職後、幼少時に耳で覚えた英会話をベースにビジネス英語を習得。約20年にわたって年の3分の1ほどが海外出張という日々を過ごす。40歳を過ぎたころ、心身の疲れを癒やすために長野県の八ヶ岳山麓に移住。移住先で再就職した企業でも、英語力を買われて海外の取り引き先と英語でやり取りする日々を送っている。

度聞けるし発音はいい方だ。それをベースに、社会人になってから必要に迫られて独学したのが中村さん流のビジネス英語だ。

「たとえばアメリカ人と打ち合わせする前に、あいさつ代わりにちょっとした小話をしてジョークを飛ばし合うようなことがあるじゃないですか。そういうのは面倒くさい。英語圏のネイティブの人とのやり取りはいつきにハードルが上がります」これまでの商談相手はインド人、韓国人など非英語圏の人の方が多く、英語のレベルに近い彼らの方がストレスなくスムーズにことが運ぶと言う。

出版社勤務の新開葉月さん（三十四）も、英語が決して得意ではないにもかかわらず、海外でコミュニケーションを重ねてきた。英語環境にいたのは、アメリカ・ニューヨーク州の小さな町の現地校に通った小学一年生から二年生の一年間。中学の三年間はタイのバンコク日本人学校に通った。大学時代から和太鼓のサークルに入っていていまも海外公演の機会があり、フィリピン、ロシア、ベトナムといった国で外国人と話すことがある。四年前に家族で子どもをこのころ住んでいたニューヨーク州スケネクタディの町を訪ねた際には、



しん かい はづ き 新開 葉月さん

1988年生まれ、福岡県出身。小1の夏から1年間、アメリカ・ニューヨーク州スケネクタディに滞在。本場のブロードウェイ・ミュージカルに感動したのをきっかけに、美術・デザインを志す。帰国してからは和太鼓に出会い、音楽でも才能を発揮。日本人学校の中学部で3年間を過ごしたタイのバンコクでは、世界中どこへ行ってもコミュニケーションできる度胸を養った。美大ではデザインの腕を磨くかたわら、和太鼓サークルにも所属。卒業後も海外公演を重ねている。本業はデザイナー。出版社で販促物や書籍のデザインを手がけている。

アメリカ人が話す「Where are you from?」といった簡単なことばすら聞き取るのに苦労したと言うが、フィリピン人のゆっくりと話す英語ならばちゃんと理解できる。ロシアでは英語はまったく通じなかったが、翻訳機を使ったりかたことこのロシア語で体当たりのコミュニケーションをしてきた。

新開さんの「どこへ行ってもなんとかなる」という自信は、バンコク時代に確立されたものだ。タイでは

英語も日本語もほとんど通じないが、日本人学校の友達グループでよく町に遊びに出かけた。

「当時はプリクラが流行っていて、シローという乗り合いタクシーでタイ風のプリクラがある商業施設へ遊びに行ったりしていました。お店の人とは『これください』『ちよつと負けて』『これ大盛りで』『くらいのかたことこのタイ語で。あとは数字さえわかればなんとかなりました。自由に過ごせて楽しかったな』

海外経験を隠す 帰国生たち

中村さんは二度の転職を経験しているが、いずれの採用面接でも海外経験については触れていない。

「英語ができることが結果的に売りになっていますが、履歴書には（幼少時の海外在住経験には触れずに）高校以上のことしか書きません。相手が過度に期待してしまうから」

普通よりちよつと英語ができますよ、というくらいが、一般的な日本の会社でやっていくにはちょうどいいと言う。

「『商社で長年海外営業していました。ビジネス英語ならできます』と。そこで『ちよつとしゃべってみて』と言われて、きれいな発音でそこそこのことを話せば『おおう』となるわけです」

「特に聞かれないかぎり海外経験を言わない」という帰国生は多い。

中村さんの場合、そうするようになった原点は、オーストラリアから帰国したあとの環境だった。出身地の横浜ではなく、「アウエー」の関西の小学校に入った。

「二重苦というのですかね。英語

どころか日本語（方言）も違う。東京弁を話すやつが外国から来たというので、たいへんでしたよ」

異物に対する拒否反応がからかいなどの行動に表れていった。中学に進んで英語の授業が始まると、中村さんはいつしか英語を「カタカナ」で発音するようになっていた。

「高校でもそれを続けていたのですが、あまりにも下手に聞こえたみたいで、先生に『ちゃんと発音しなさい』と怒られたことがあります。腹が立ってきてね。ほかの連中も下手なんだから別にいいじゃん、自分で自分が言われるのかと」

それで本気を出して、ネイティブスピーカー並みの発音でそれこそペラペラと教科書を読み上げた。

「先生は『ああ、わかったわかった、座りなさい』と。その後はまたカタカナ英語に戻しましたが、何も言われなくなりました」

帰国後の同調圧力にさらされてわざと英語が下手なふりをした経験は筆者にもある。まだ日本の教室に多様性を認める空気が薄かった時代の昭和生まれの帰国生の体験談としてはよく聞く話だ。

五十二歳の筆者より五歳若い一九七五年生まれの佐藤真希さんは、通信社の記者だったお父さんの赴任先

のレバノンに三歳から六歳まで滞在。日本をはさんでロンドンで小学五年生から中学二年生まで過ごした。レバノン時代はインターナショナルスクールで、ロンドンでは日本人学校で僕の後輩だ。

「レバノンから千葉県へ帰ったのですが、都市部ではなかったのも、帰国子女を受け入れたことがないような小学校でした。みんなが私を見に来ました。そして、『英語話してみて』と。いざ話すとみんなサーっ

と引いていった、いやな子だと言われる。少しですが、いじめにも遭いました」

当時は、「どうやってこのメンパーと仲よくしようか」ということばかり考えていたと言う。

「まず、（口が達者な）女子の集団のなかで、誰がいちばん発言権を持っているかを察知するんです。意見を求められたら、その人が言いそうなことを言う。でも、それが毎回間違っているような気もして不安でした」

ときどき空気が読めないとかわれて落ち込むこともあった。そんななかで、レバノンのことも、英語も、積極的に忘れようとした。そのあとのロンドン転勤だったから、迷わず日本人学校を選んだ。

「両親も帰国当時の苦労を見ていて、二度と繰り返させたくないと思って、二度と繰り返させたくないと思

帰国後の分かれ道

滞在時期や現地での学校選択といった不可抗力に近い要因だけでなく、自らの選択も、その後の人生における英語とのつき合い方に影響する。

ここで筆者の高校時代の話におつき合いいただきたい。一九七〇年生まれ、僕が高校受験をしたのはバブル期の八六年のこと。幼稚園の年長から小学三年生の夏までカナダ・オタワの現地校に通い、東京の公立小学校を経て、中学の三年間は佐藤さんと同じロンドン日本人学校に通った。関東に帰国する日本人学校の同級生の多くが早慶の付属校をはじめとする私立進学校を帰国生枠で受験するなか、僕は帰国生入試のない都立戸山高校と帰国生枠でICU高校（国



さとう まき 佐藤 真希さん

1975年生まれ。3歳から6歳まで戦時下のレバノン・ベイルートで過ごす。父は通信社の特派員で、自宅兼支局に流れ弾が飛んできたことも。家の前を戦車が行き交う光景が原風景。レバノンではインターナショナルスクールに通った。日本の小学校をはさんで、小5から中2までロンドン日本人学校で過ごし、女子大の1年時にもロンドンへ語学留学した。保険会社に3年間勤務後、かねてから趣味にしていた写真撮影を仕事にするため、退職して写真学校へ。卒業後、おもにウエディングカメラマンとして長年活躍し、現在は旧姓のニックネームから取った「シカマキ写真館」のカメラマンネームでペットと人のポートレートをライフワークにしている。

際基督教大学高等学校)を受けた。

幸い両方合格して、超ドメスティックな公立の伝統校か、超国際的な私立高校かという両極端の選択を迫られた。

結果、一部の親戚にICU高校を勧められつつも、戸山高校を選んだ。その選択の根底には、いまにして思えば僕の帰国生としての英語力に対するコンプレックスがあったと思う。ICU高校に見学に行ったときに見た、一部の生徒たちが日本人同士で英語で会話をしていた光景が忘れられない。当時は斜に構えて「ああいうのがいやだからICUには行かない」という言い方をしたが、要はICU生の英語力の前に怖じ気づいたのだ。日本人学校出の「ハンパな帰国生」として、きつと十年以上アメリカにいたりした彼らと互角に渡り合う自信がなかったのだ。

いまなら、ICUにもいろいろな経歴の生徒がいて、英語が得意でなくとも自信を持って入学すればいいことはわかる。でも思春期の僕には、周りが皆自分より優れているように見えたし、等身大の自分を受け入れる挑戦する勇氣も度量もなかった。

戸山は優秀で個性的な友人が多い素晴らしい学校だったので後悔はしていないが、あのときICUに行っていたら、いまごろは胸を張れる英語力



うちむら こうすけ
内村 浩介

1970年、ビルマ・ラングーン(現ミャンマー・ヤンゴン)生まれ。東京をはさんで、5歳から9歳までカナダ・オタワに滞在し現地の幼稚園・小学校に通った。中学3年間はロンドン日本人学校。一般入試で入った都立戸山高校では、本特集に登場するジャカルタ日本人学校出身のT君と同級生。大学卒業後、新聞記者を7年間経験したのち、高校時代から目指していたカメラマンの夢を捨てざれず、同じ新聞社内の写真部へ自ら願い出る形で異動。アフガン戦争などの撮影を経て、2005年よりフリーカメラマン・ライターとなった。その後飼いはじめた犬とのびのびと暮らすため、2011年に長野県の高原に移住。以後、記事も書ける写真家として、雑誌・ウェブメディアなどで「犬と人の絆」をメインテーマにフォトエッセイを発表している。カメラマンネームは「内村コースケ」。帰国生の端くれとして、『海外子女教育』のライター陣には長年加わっている。



カナダの現地校の友達と。
筆者が最も幸せだった時代



ロンドン日本人学校の卒業式で
(右の白い服が筆者)

があつて、どこかの大企業の海外駐在員として優雅に暮らしていたかもしれない。

その戸山高校は、当時は都立ナン

バーワンの進学校だったが、自由な校風で決してガリ勉タイプが多いわけではなかった。仲のいい同級生にはJポップのメジャーシーンで活躍

するミュージシャンやアフリカン・パークッシュヨニスト、大病院のエリート街道をあえて進まずに地方で開業医になった写真家・音楽家でもある皮膚科医、大手住宅メーカーのインテリアコーディネーターといったクリエイティブに優れた友人がたくさんいる。

帰国生はまったくいいわけではなかったが、直接海外から受験したのはおそらく自分を含めて数人いるかないか。中学以前の在住経験者も、アジアの日本人学校に行っていた生徒がほとんどだった。

その帰国生入試のない都立高校に潜む「隠れ帰国生」のひとりが、僕がカナダにいたのと同じ時期をインドネシアのジャカルタで過ごしたT君だ。ほかの隠れ帰国生同様、親しい友人にしかいまもそのことは知られていない。この記事の取材を兼ね、久しぶりに農業系の団体に勤めるT君に会った。

「英語? むしろ苦手意識しかないよ。当時のジャカルタ日本人学校には小学三年生からインドネシア語の授業はあったけれど英会話はない。町でも英語を使う機会はゼロ」かたことのインドネシア語は覚えていたし、インドネシアの暮らしや気候風土が人格形成に影響を与えた

面はあるかもしれないと認めつつも、彼の海外経験と英語はまったく結びついていない。

「語学はセンスのような気がする。自分は音で覚えられない。それに加えて、変な自尊心があつて、しゃべれない自分をさらけ出せなくて余計にしゃべれなくなるという悪循環。帰国子女の特権のようなものは自分にはなくて、学力面ではむしろマイナス点の方ばかりじゃないかな？」

一浪して最難関大学に入ったT君だが、現役時の成績は決してよくはなく、特に英語は赤点ストレスだったと言う。

帰国子女は特権階級か

T君は、「みんながイメージする優秀な帰国子女は、西洋人が住んでいる国から来た人」と言う。英語圏の現地校やインターナショナルスクール出身者の場合、たしかに自然と身についた英語力が入試に有利に働く場合が多い。半分英語圏の現地校、半分日本人学校の僕ですら、大学入試でそれほど英語を勉強する必要がなかった分、小論文をはじめとする国語の勉強に集中できた。その結果、

学校の成績が最低だったにもかかわらず早稲田大学第一文学部（当時）に現役合格し、皆を大いに驚かせた。その経験からも、海外仕込みの英語力は、たいして高いレベルでなくても日本の受験で有利に働くのは間違いないと思う。

言うまでもなく、帰国生入試枠の存在も大きい。佐藤さんは大学時代に、「帰国子女は特権階級かもしれない」という思いを卒論のテーマにした。僕と同様、ロンドン日本人学校から一般入試で県立高校に入り、有名女子大学に進んだ。大学時代に留学して一年遅れたため、卒論のテーマを決めるころにはロンドンの同級生の大半はすでに就職していた。

「皆さん、のきなみ大手の企業に行かれていますよね。なんでかな」と考えてみると、高校で帰国生

佐藤 真希さん

同級生の多くが乗っていたそのレベルに、自分は乗っていない。もし高校受験時にそこにいっしょに乗っていたら、就職でも大手企業への道があったのかな？ いじめに遭っていたけれど、じつは多くの帰国子女はむしろ得をしているのかな？

そんな疑問を、卒論にぶつけた。

帰国生入試が始まった当初は、日本の教育を満足に受けられなかった帰国生に対する救済措置的な側面が大きかった。いまはむしろ、英語力をはじめとする帰国生特有の能力に期待して、優先的に入学させる制度になっている。佐藤さんは卒論を書いた当時から振り返ってこう語る。

「国際化の潮流に乗っているというか、帰国生であることは入試や就職でプラスに働いていると思います。個人的には、中学時代に成績が上位ではなかった子たちが、自分よりも全然いい学校に入っているいいよな、と感じたのも正直なところですよ。



ロンドン日本人学校時代



レバノン時代



大学生のとき語学留学でふたたびロンドンへ

でも、国際感覚などの本質的な部分よりも語学力ばかり見られてしまいがちで、就職先で外国人への対応要員などとして便利に使われてしまうのかな、とも当時は思いました」

とはいえ、いまは帰国生入試を実施している学校の多くが、英語力だけに期待しているわけではない。海外経験で培った多様な価値観を認められる感性、物事を多角的に見て客観的に捉える能力といった本質的な国際感覚が重視される傾向にある。そこそこの英語力を武器に国際的に活躍する海外営業の中村さん、体当たりのコミュニケーションで和太鼓を世界で紹介している新聞さんのような人も、これに当てはまる人材といえよう。

「英語に疲れて地方移住」 「英語力へのコンプレックス から留学」

その中村さんだが、じつは順風満帆に一本道を歩んできたわけではない。商社時代は年の三分の一ほどが海外出張の生活だった。

「まあ、それに疲れたというのもありましたね。あまりにも疲れて、早く引退したいと思うようになりま

した。もともと退職後は田舎でのんびりしたいという思いがあったのですが、移住を前倒ししました」

決して「ペラペラ」ではない英語で乗り切る生活が、心を蝕んでいった面もあったかもしれない。四十年代前半で正社員の座と都会の暮らしを捨て、長野県の地方都市へ移住。家事や畑仕事、アルバイトをしながら現地地で再就職した奥さんとふたり、



長野県に移住した中村さん。最初の4年間は仕事を休み、薪割りなどをしているのんびり過ごした。

中村 賢一郎さん

のんびりした日々を送った。

そんな暮らしを四年ほど重ねたのち、移住先の中小メーカーに再就職した。やはり英語力を買われて、部品を海外から調達する仕事などを任された。しかし、都会の企業で国際的に活躍してきた中村さんには、会社に残っていたいという「地方のメンタリティー」が耐えられなかった。一年ほどで退職し、少し離れた町の

上場企業に入り直した。ここでも海外の取り引き先と英語でやり取りすることが多いが、時代が変わってオンラインやメールでのやり取りが中心。国内向けの仕事も多い。

「結果的にまたそうなっていますが、海外や英語にかかわらない仕事でも全然構わない」とも語る。

英語にこだわりがなくても向こうから追いかけてくる中村さんのような人もいる一方で、帰国後にあらためて留学や海外勤務を目指す帰国

生もいる。佐藤さんもそのひとり。大学一年のときに、イギリスに語学留学した。あまり英語力が伸びなかったロンドン日本人学校時代へのリベンジのような形だ。

「ほんとうにコンプレックスが激しかったんですよ。高校に小さいときから現地校に通っていたペラペラな子が何人かいて、外語大を目指すような特選クラスに入っていました。一方、私は同じような時期に海外にいたのに全然しゃべれない。それを勝手にプレッシャーに感じていました」

語学留学から戻って、コンプレックスはだいぶ薄まった。

「むしろ(海外に)かぶれているくらいな方向に舵を切りました(笑)」自分も帰国子女であることを、周りに積極的に言うようになった。

「自分でもこじらせているなあ、と思っていたのですが、ステレオタイプな帰国子女を演じているようなところもありました」

日本人としての アイデンティティを求めて

反対に日本文化の理解へと、アイデンティティ確立のベクトルが向く

ケースもよく聞く。佐藤さん自身も語学留学に舵を切った一方で、専攻の選択は足もとを見つめ直すものだった。入学した地域文化学科で、研究対象をアジア文化にするかアメリカ文化にするかの選択で、佐藤さんは迷わずアジアを選び、そのなかでも日本文化を専攻した。

「海外では日本人としての意見を求められたり、日本文化のことをよく聞かれます。でも、イギリスに留学したときもそうだったのですが、私は何も答えられませんでした」

留学先で「日本人は自分の国を知らないことで有名」とまで言われる現実に直面し、大学に戻ったらちゃんと学ばなければと思った。

新開さんが和太鼓に取り組んだきっかけにも、同様のモチベーションがかかわっている。子どものころから絵を描くなど美術が好きで、美大を卒業して現在はデザイナーとして出版社に勤務。本の表紙から販促グッズまで、社業にかかわるデザインを幅広く手がける。その原点は子どものころにニューヨークで見たブロードウェイ・ミュージカルだった。

「すごくセンセーショナルでかっこいいと思いました。そこから美術方面に進みたいという思いが強くなっていきました。いまでも王道のポ

ップスとかミュージカルが大好きです」

アメリカのエンタメ文化が自身のクリエイティブティのベースにある。

一方、和太鼓は、帰国先の宮崎県の祭りに太鼓で参加したのをきっかけに小学三年生から始めた。中学・高校では中断していたが、高校時代にこんなことがあった。

「ベトナムの学校との交換留学に応募したのですが、落ちてしまった

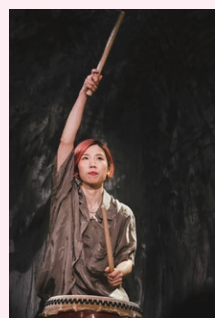
んです。同じクラスの子が行ったのですが、その子は着つけができました。日本文化を紹介できるかどうか、分かれ目だったんです。それが悔しくて。それで、自分にも和太鼓がある、和太鼓なら海外でも日本人としてのアイデンティティになると、大学に入ってから再開しました」

学ぶチャンスを捨てて、あえてなじみのない東洋哲学を専攻した。また、同時期に母が通っていた生花教室にねじ込んでもらった。いずれも、せっかく日本で大学生をしているのだから、日本人としての自分の足もとを知らなければ、という思いからの選択だった。「自分の国の文化を知っている」ことは、「英語を流暢に話せる」ことと同じくらい、アイデンティティの核となり得る。

新開 葉月さん



ニューヨークの街角で弟と



和太鼓に打ち込む新開さん



海外で公演すること多い

ホーム&アウェイ

日本と海外のどちらをホームと感じるか。そこには、語学力が大きくかわってくると思う。これまでの取材経験からも、英語やそのほかの外国語の方が得意な人の多くは海外をホームに感じるし、逆もしかりだと思う。加えて、「人生ずっとアウェイだった」と言う中村さんのような人もいる。僕もそれに近い。海外がアウェイだったのはもちろんだけど、日本社会を覆うものの考え方やコミュニケーションの仕方はいまもってなじまないでいる。

日本に帰ってきた瞬間に『ああ、白いご飯がおいしい!』と泣いて喜ぶような日本大好き人間です」と言う新聞さんでも、ものをはつきり言わない、遠回しに表現する日本人同士のコミュニケーションは苦手だ。美大時代の親友は帰国生と韓国人学生。気を使わなくていいのでいいしよにいてとても楽だ。ふたりとはいまも交流が続いている。

佐藤さんは、「これは海外にいたからか、我が家の性格かはわからないですが、家族全体が臭いものにふたを閉じられないタイプ。何かに困っているという話が出ると、問題を具体的に解決しようとかんがっちゃうんです。反対に『誰かがやってくれるだろう』と黙っていることの多い外の社会にいます」と話す。

そんな佐藤さんは、大学卒業後に一度就職し、三年でやめてから写真学校に入り直して、現在はフリーカメラマンとして人とベットの絆をテーマに撮影に飛び回っている。じつは、僕も同じような立場で同じような仕事をしていて、取材時に佐藤さんにこう明かした。「僕は日本語も英語も中途半端で、絵や音楽の才能があるわけでもない。そのなかで、写真だけが思いを適切に表現できる

ツールなんです。そのことに高校生のときに気づいて、回り道をしながらも、写真の道を歩んできました」。わかってくれそうな人が少ないので、このことはあまり人に話さないのだが、佐藤さんはそれを聞いて、「私もまさにそんな感じですよ」と大きくうなずいていた。

英語力についてはほとんど国内生と変わらないバックグラウンドの戸山高校のT君にしても、ジャカルタでの原体験は大切にしている。

「ジャカルタより前の記憶はほとんどないのだけど、当時の羽田空港から飛行機に乗って丸一日かけてジャカルタに行った日のことは細かいことまで克明に覚えている。空港の最後の別れのあいさつをする部屋で祖父と話したこと、飛行機が揺れて客室乗務員に酔い止めをもらったこと、ジャカルタの空港を出たら空気が生暖かくて、ホテルに向かうタクシーから星空を見上げたこと、母が『思ったより緑が多いのね』と言ったこと……」

毎日停電があつて、テレビは国営の白黒チャンネルが一局しかなく、近くを流れる川沿いには、濁った川の水で食器を洗うような屋台が並んでいて、車で市場に出かけると窓の隙間からもの乞いが「ミンタウワー

ン(お金をください)」と手を突っ込んでくる。そんなジャカルタの生活を、いまま懐かしと思うし、少々不便には動じない自信がある。高校時代から登山が趣味で、何も無いところでぼーっとしているときがいちばん幸せだ。

「大学生のときに山小屋で一カ月バイトしたんだけど、テレビも何もない生活をなんも思わなかったな」日本がホームだけど、インドネシアは心の故郷だ。自分の子どもたちにも、ジャカルタ時代の話をよく聞かせている。

「Play with me」 ついで

四人にインタビュアーしてあらためて感じたのは、英語がペラペラでないことが海外経験の価値を下げはしないということ。同時に、本人のなかでは特に受験や就職前後の時期に、それにコンプレックスを感じることも多いということだ。

「もちろん英語が得意なのに越したことはない」と、四人は口をそろえる。一方で、△国際感覚に優れた自分▽と日本社会のギャップに苦しみつつも、歳を重ねるほどに英語だ

けではない。帰国生のチカラに誇りを持てるようになる。

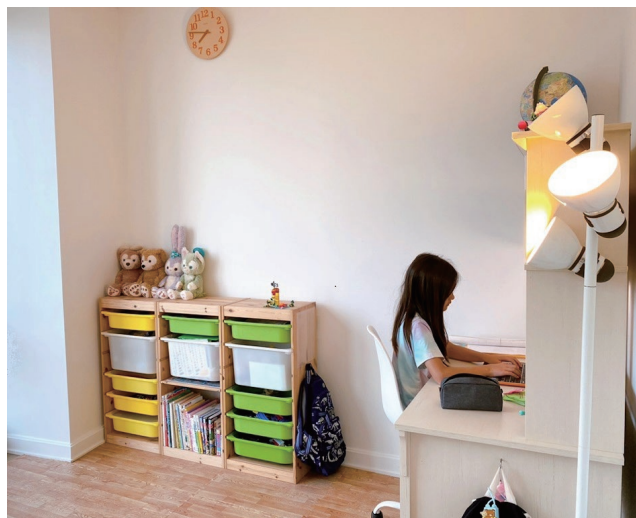
僕らの時代よりも、いまは多くの人さまざまな形で海外に飛び出している。コミュニケーションツールとしての英語力に優れていることよりも、その人の能力や内面の豊かさや重視される時代だ。日本にも多くの外国人が来ているが、「ペラペラ」なレベルの日本語を話す人がどれほどいるだろうか。海外で活躍する日本人サッカー選手や野球選手にしても、かたことの英語やスペイン語でインタビュアーに答えるのがやっただけど、現地の人の尊敬を集めている人は案外、ことばで発せられることだけでなく、その人のしていることの質や人格をちゃんと見ているのだと思う。

「アメリカでは、母に最初に教えられた『Play with me』ということばだけで、旅先でもどこでも同年代の子がいたら話しかけて仲よくなっていました。いまでも、英語でも日本語でもロシア語でも『何か言っていれば伝わるだろう』という自信はあります」と新聞さんは言う。英語力はあつた方がいい。でも、伝える心があれば、コミュニケーションは成立する。

海外駐在をめぐる整理整頓

ミニマルに暮らす

取材・文 小山和智



勉強コーナーもすっきりと

海外赴任は、国境だけでなく政治状況や文化、生活習慣の違いを越えての移動なので、持っていきたいものが際限なく増える。

また赴任地に着いたら、「これが必要」「あれも欲しい」とものゝはどんどん増えていき、「引越し荷物と合わせて、家の中が倉庫同然になった」という話も耳にする。

しかし、「生活をできるだけ単純／質素なものにする」「ほんとうに必要としているものだけ／好きなものだけに囲まれて過ごす」という、余計な手間やストレスから解放される知恵も必要だろう。

この特集では、整理収納アドバイザーの南さやかさんにお願ひして、駐在生活の暮らしと子育てをラクにする観点で、いろいろなコツを教えもらった。



みなみ

南さやかさん

整理収納アドバイザー

1983年大阪生まれ。地元の大学を卒業してアパレル関係の会社に就職、VMD (Visual Merchandising) の職で10年のキャリアを積んだ。2016年、夫のシンガポール赴任に際し、自身も勤務先の駐在員として赴任（子どもを2人帯同）。仕事と家事・育児に悩むうち「整理収納」の技術に出会い、1級資格を取得した。19年、夫がニューヨークに転勤となり、家族で渡米。3人目の子を出産後、フリーランスに。SNSで「暮らしと子育てをラクにするコツ」「整理収納」の発信、ウェブセミナー開催などを続けている。子どもは現在11歳・8歳・2歳。

<https://sayakaminami-homepage.amebaownd.com>
https://www.instagram.com/saaaaayaka_happy_life

ミニマル思考の勧め 生活の考え方を变える

コロナ禍で外出が制限され、夫も自宅勤務、子どももオンラインの授業になったりするなど、家庭内のストレスはたまるばかりだ。家の中には生活に必要な日用品から、まさかのときのための備蓄まであって、置き場所にも頭を使ってしまう。とり

わけ海外生活だと、不慣れな環境での不自由さがあり、不安もいっそう増してしまふ。

南さやかさんは、整理収納のプロである。「どんな場所に行っても、どんな家であっても、快適に、効率よく、かつ、おしやれになる部屋の空間づくり」を目指して、SNSを活用しながら活動する、まさに「時の人」である。

「コロナ禍で、おうち時間が増えていますよね。育児に家事、自らの仕事や趣味の時間の

やりくりまで、奮闘する毎日です。『いつまで』という終わりの見えない状況ですから、家の中でストレスをためないことが大事です。そのコツの第一が、ものを減らすことといえます。

私がものを減らしはじめたきっかけは、日本からシンガポールへの引越しです。新居であるシンガポールの自宅に日本から送ったものが多すぎて入りきらず、その場で引越し業者さんに大量に処分してもらった過去があります。

それと、ミニマル思考のかたが書かれた数々の書籍からも影響を受けました。「こんなふうに、ものが少なく快適に暮らしたい!」と強く思いました。

海外に住んでいるとなにかとストレスが多くて、その反動で欲しいものが絶え間なく増えていきます。ミニマルズムの考え方は私には衝撃で、自分の理想がやっと見つかったと思えました」

自分ではどうにもならないことを排除して、目的を見失わず

南さんのインスタグラムから
「モノを捨てる順番」(初級編)

ミニマリスト モノを捨てる順番 (初級編)

ミニマリスト
モノを捨てる順番 (初級編)

STEP 1 明らかに捨てるべきモノ

意外とあるんですよ

モノを買ったり貰ったりして家の中に持ち帰る時に一緒に付いてくるモノや、すでに使えなくなっているのに気付かずにずっと持っているモノが対象。

ミニマリスト
モノを捨てる順番 (初級編)

STEP ① 明らかに捨てるべきモノ

【具体的にはこんなモノ】

- ✓ 賞味期限切れの食材
- ✓ 乾いてしまったマスカラ
- ✓ 使用期限切れの防虫剤
- ✓ 使う目的がないダンボール
- ✓ 保管する必要がないレシート
- ✓ 譲れないくらいすり切れた服
- ✓ すでに処分した家電の取扱説明書

見返せるように
保存ポチリ



引っ越し時の4分類

A. 日本に置いていく荷物：

勤務先が倉庫等の経費を負担してくれるケースもあるが、多いほど経費もかさむ。赴任期間中はまったく触れない荷物なので、数年後に帰国した際、ゴミ同然となってしまうかに注意。

B. 船便で送る荷物：

大き目のものや重いもの、ある程度多量に持っていきたいものは、比較的安く送れるものの、通関のためのリスト作成等はけっこう手間がかかる。赴任国までの距離や通関状況にもよるが、長ければ3カ月以上かかって届く場合もある。また、くんじょう燻蒸処理による臭気や冠水、破損・紛失などのリスクもあり、貴重なものには不向き。

C. 航空便で送る別送品：

1～2週間で届くので、最近では引っ越し荷物の主流になりつつある。とはいえ経費は高いので、生活必需品に限られる。通関のためのリスト作成と、保険をかけておくことは必須。

D. 手持ち（Hand-Carry）の荷物：

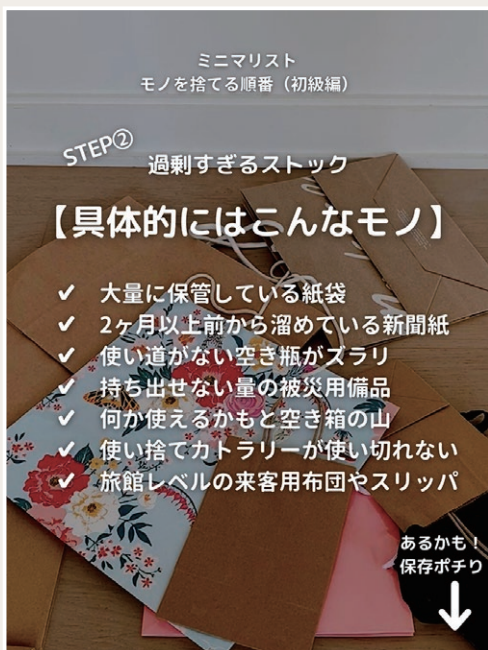
いわゆる「手荷物」として搭乗する飛行機に載せて運ぶもので、経費はかなり高い。あらかじめ航空会社に相談して「引っ越しバック」などを利用するとよい。なお、赴任国に到着するとき、Cの別送品と合わせて空港の税関で申告することが必須。

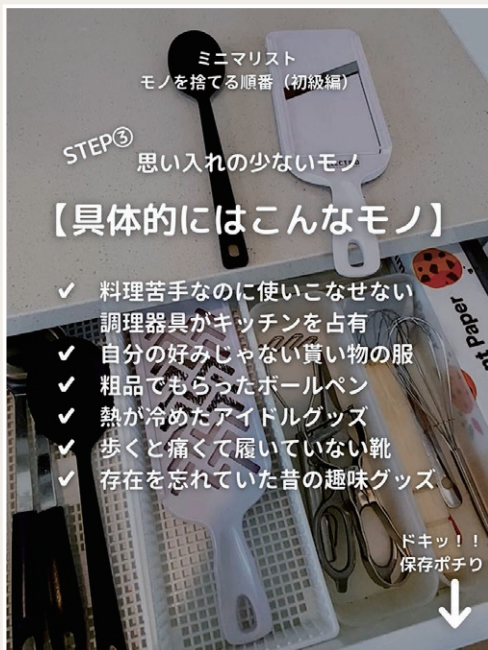
に解決する考え方を「ミニマル思考」という。物事をシンプルかつ最小限に考えられるようになれば、ほんとうに必要な課題に絞って対処できるようになる。

海外赴任の辞令が出ると、持っていくものを決めなくてはならない。しかし、このときこそ「必要最低限のもので過ごす」

手元にあるもののなかから「何がほんとうに大切なか」ということを明確にしていくなかで、姿勢が大切なようだ。

海外赴任が決まったら
引っ越しもミニマルに





という決意が必要である。

「会社が倉庫代や引っ越し経費を出してくれたとしても、把握しておくものが多いほど神経も使います。極力少ないほうが楽なので、絶対に必要と思えるものしか持たないことをお勧めします。

船便で送る荷物のリストづくりはたいへんなのに、たくさん入れがちですね。届いたときには『ああ、こんなにいらなかった』と皆さん感じています。私も最初のシンガポール赴任のと

きがそうでした」

そうはいつでも、海外に持っていくはず、日本の倉庫等に保管もしないなら、他人に譲るか廃棄するしかない。

「ものが捨てられない原因は、『過去への執着』と『未来への不安』だと思います。特に過去にプレゼントされたものや、いつか使うかもしれない何年も保管しているもの、それらはまさに執着と不安の現れなので、もっと『いまの自分に必要か?』を考えましょう。

基礎知識 2

医療関係のものの収納

※赴任時もかならず手荷物で携行。

※いつでもすぐに持ち出せる工夫を（探さずに済むように）。

1) 必要書類

健康診断書、病状経過診断書、母子手帳、予防接種の記録、保険証書などは一つのファイルに。

2) 救急セット

消毒液とバンドエイドだけでもよい。あると便利なのは体温計、爪切り、とげ抜き、ピンセット。できるだけコンパクトにまとめる。

3) 常備薬

解熱・鎮痛剤、風邪薬、外傷薬、虫除けスプレー、かゆみ止め、目薬など、なじみのあるものにする。保管は冷暗所に小箱／袋にまとめておくこと。

注）メガネのスペア、当座の生理用品などもあると便利。家庭医学書や辞書類はスマホでカバーできる。



日本に残しておくものは、実家に預けるか、倉庫を借りて保管するという人が多いと思いますが、残されたものを管理する手間と費用を考えると、減らすことを強くお勧めします。海外に住んでいる数年の間で必要ないものなら、自分の「いま」の暮らしには不要ということですから」

引越しは人間関係を見直す好機でもある。人間関係をリセットすることで、自分や自分の家族にとって快適な生活環境を

整えられるかもしれない。だから余計に、まずはものの整理から始めよう。

ほんとうに必要なかどうか迷ったら、いま赴任先で暮らしている人に聞いてみるのもよい。使う頻度や必要なときだけ借りるなどの調達方法を確かめてみよう。インターネット上で気軽に教えてくれる人も、けっこう見つかる。

現地への軟着陸 到着後の二、三週間

赴任国に到着すると、すぐに生活必需品の調達に追われる。

「赴任の際の手持ちの荷物は、航空便が届くまでに必要なもの……救急用品や常備薬、自分がこだわりのある洗濯洗剤、食器洗剤、シャンプーやリンスなどを一個ずつなど、ほんとうに必

要だと思うものに厳選します。この点は旅行者に近い感覚ですね。

航空便は『〇箱まで』という制限もあるでしょうから、最初の一カ月間、自分が安心して暮らせるようなもの……着慣れた服・使い慣れたものなど、精神の安定につながるものを選ぶのがコツです。衣類は、たくさんはなくても洗えば着られます。気分転換や娯楽になるものも、少しはあつていいです。

赴任直後は、買い物は最小限

ミニマリスト
モノを捨てる順番 (上級編)

STEP 1 同じ用途のモノ



使用目的が同じモノを何個も持っていないですか？ 沢山持っているとよく使うモノと全然使わないモノがあるはず。数は少ない方がスペースも有効活用できます。

ミニマリスト
モノを捨てる順番 (上級編)

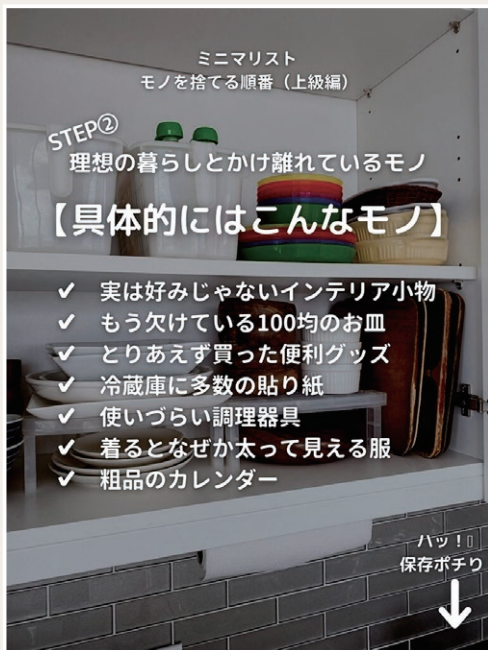
STEP ① 同じ用途のモノ

【具体的にはこんなモノ】

- ✓ 炊飯器用のしゃもじが2つ以上
- ✓ 傘の本数が家族分より多い
- ✓ お箸が多すぎて片方が迷子になる
- ✓ 似たような服が何枚もある
- ✓ 1部屋にゴミ箱が2つ以上
- ✓ セロテープをかき集めたら同じタイプが2つ以上あった

チェック用に
保存ボタリ





基礎知識 3

子ども部屋の考え方

ほとんどの国では「寝室は寝るだけの部屋」と考えられている。睡眠時間以外は、居間や食堂で家族と過ごすのがあたりまえだ。勉強も親の目の前でするのが普通で、学習用具も居間などに置かれる。

日本のように寝室を“子どもの城”にすることを許すと、親の知らないものまでどんどん寝室にたまっていき、ミニマルな暮らしの最大の敵にもなる。いくら親が家財を厳選し収納に苦労していても、子ども部屋はものであふれていく。

引きこもりを“育児放棄”と見なす国では、警察沙汰にもなりかねない。それだけでなく親子が力を合わせて異国で暮らしているわけで、いっしょに過ごす時間は貴重である。学習面や自己肯定感の面だけでなく、ものの管理の面でもよい効果を生むのだから、「子ども部屋は寝るだけのところ」を徹底したい。

に抑えながら『何が入手できて、何が入手困難か』を確認していくことをお勧めします。

買いそろえるものは、先に赴任している人がいればその人が実際に使っているものだけにしてみるのも一案。また、最初は「賢い買い物」にこだわらず、失敗を恐れないでやってみよう。

どこで何が手に入るかを調べていく過程で、土地勘をつかむこともミニマル思考の基本です。あとで船便が届くならなおのこと。

と、仮暮らしの不便さを楽しむくらいの気持ちを持ちましょう。

ただし、船便は何カ月も待つて届くので、ほんとうに必要なのかというところにあやふやです。いざとなったら現地で借りたり入手したりできるものばかりなら、思い切って『船便は使わない』という判断も賢明かなと思います」

もちろん、緊急連絡先や情報アクセスの確保、非常時持ち出し物品を一カ所に集めておくこ



おもちゃは自分で片づける

とは、サバイバルの基本ではある。しかし、これとても「何がより大事か？」の選択を重ねた結果である必要がある。

海外に住んでいると「自分のこだわりを徹底的に貫き、お気に入りに出会うまでは辛抱して絶対に買わない」という人たちに会って驚くかもしれない。赴任直後は、ともすると「とりあえず前の家から持ってきたカーテンを下げ、とりあえずバスマットとタオルを買って……」とセッティングを急ぐあまり、

気に入らないものでも買ってそろえてしまいがちなので、気をつけよう。

定住型の整理整頓 到着後一カ月以降

赴任先の環境にも慣れて落ち着いてくると、荷物の整理・収容が課題になってくる。ここでも必要最低限のもので過ごす決意が必要だ。

「何度も言いますが、船便で

運んだものには、けっこういらないもの、役に立たないものがありますから、それらをどう収納するかまで悩むことになりかねません。

だから船便にする荷物は、子どもの学習用図書や趣味の道具など、赴任先では調達が困難なものに絞り込むことをお勧めします。基本的に『使うかもしれないもの』と『不要』と考えましょう。

数年で転居・帰国することはわかっているし、緊急避難もあ





子どもたちの食事風景

るかもしれない。それらに備えて定期的な整理収納も必要になる。

「結局使わなかったもの」は記録を残しておくといいですね。先に赴任していた人の知恵も借りて、それを明確にしておきましょう。

毎日、買物に出かけることも大事ですね。つまり、買いだめ

をしないこと。毎日出かけることで、知り合いも増え土地勘もつきますから、情報ネットを得る機会でもあります。

ミニマルの発想が身につけば自然に持ちものは減って、整理収納は格段に楽になるし、いらそうも軽減します。子育て中はそうもいつてられないことも多いのですが、つねに「処分すること」を頭に置いておきましょう」

しかし、無駄

と思えるものでも、心を潤すものは自分の精神安定剤として、しっかり場所を確保したい。他人から見れば「こんなものいらないんじゃないか」と思えるものでも、その人形やその食器が、見るたびに「なんとかなる

基礎知識 4

子どもの思い出の品

子どもが学校やサマーキャンプなどでつくった作品・思い出の品は、どんどん増えていく。友達からのプレゼントも含め、「そんなものいらないでしょう?」と言っても、本人はかけがえのないものと感じているので、抵抗される。

1) データ化／記念撮影して処分

印刷物や写真、本人の描いた絵などは、画像に取り込んでCD・メモリーカード等に保存し、現物は処分させる。彫刻や模型などは、手に持った姿で記念撮影して、現物は処分させる。それを習慣化させることがミニマルの基本。

2) 寄付・寄贈させる

処分させることで本人のやりがいをそいでしまいそうなときは、「誰かの役に立つ」「この町に記念を残せる」といった別の意義を付与することで納得させる方法もある。ただし、受け取ってくれる相手に大きな期待を抱くのは禁物。

3) 交換条件で選ばせる

子どもは、引っ越しのたびに「異文化」を感じていて、とすると、ものへの執着でその不安を乗り越えようとする。執着しているものを急激に引きはがそうとした場合は精神的に病んでしまいかねないので、『〇〇と××と、どちらを残したい?』と比較して選択させる方法もとるようにしたい。

よ、人生は。がんばろう!」と思えるものかもしれない。「自分にとって、心の平和を保つものに囲まれているかどうか」も選定基準に入りたい。

なお、転居・帰国の直前が最もトラブルに遭いやすいとされる。引っ越しの準備は手際・思い切りが大事である。特に転居先で入手できるものは、知人に譲るなどして処分する方が楽である。

帰国後の整理整頓
日本の状況も変わっている

本帰国となった場合も、必要最低限のもので過ごす決意があれば、経費も労力も少なくて済む。そしてなにより、いらいることが激減する。

コラム

恩送り (Pay It Forward) の勧め

「ものに託された愛や思いをどう受け取るか？」の悩みはつねにある。「せっかくだいだいたのに、もったいない」「これは愛情^{あか}の証し」と思えば、その管理を負担に感じることも多い。

しかし、譲った人はそうなることを願ってはいないし、生かして使えないことこそ、もったいない。社会にはものがなくて困っている人も多いのだから、ゴミとして捨てるのではなく、「恩送り」「喜捨／施し」といった「愛の連鎖」に委ねるようにしよう。

お互いに譲り合うことが地域社会を明るくし、お互いに安心して心豊かに生きていくことができるようになるのだ。

「実家や倉庫に残っているものは帰国前にチェックして、戻ったときにほんとうに必要なかどうかを、先に判断しておいた方がいいと思います。処分が必要であれば先に依頼しておければ、帰国後の忙しいときに、それらの処理に時間や労力を取られることを未然に防ぐことができるでしょう。」

そして、現地で使っていたものが『日本でほんとうに必要か?』とよく考えたうえで、帰国用の荷物に含めるかどうかを考えておかないと、帰国後数カ

月後に届く船便の荷物が多すぎて、びっくりすることになると思います。

大げさに聞こえるかもしれませんが、せんだけど、次の転居や再赴任に備えるくらいの気持ちでミニマルに努めることが、幸せにつながります。『ああ帰ってきた』ではなくて、定期的な整理整頓を続けましょう」

だからこそ「結局使わなかったもの」を記録に残し、明確化・意識化することが大事なのだろう。

「また、数年の間に日本国内

の状況も自分自身の感覚も変わっていることにも注意しましょう。

『日本ではこれが必要だったはず』『自分はこうしていた』などと話すと、『それ、いつの話?』とあきられることもあります。せっかくミニマルに目覚めたのなら、ミニマルな整理整頓を続けましょう」

エピソード 海外体験を生かそう

海外生活で身につくことの一つに、地域コミュニティへの参画がある。外国人として住まわせてもらうには、有形無形の支援や保護を受けているわけで、住民としての貢献を求められる。

まさかのときに備えた備蓄は、自宅ではなく地域にストックしていくようにしよう。その場

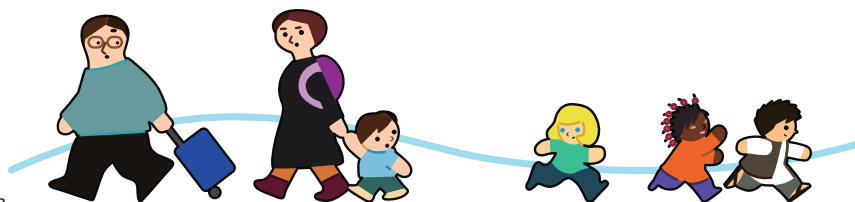
合、地域に貢献していないと、いざというときに助けてもらえない。「黙っていても」誰かが助けてくれる」というのは妄想である。

「日本人は潔癖症」ともいわれる。確かに「清潔好き」だし、他人の世話になることを極端に嫌う。しかし、海外生活を機に「リスク」に対する考え方も見直そう。

もちろん、余計なものはない／引き受けないことも大事だ。かといって、あまりに堅く考えすぎて、かえってストレスになることも避けたい。基本は「前向きに楽しく」……整然としていて、自分を表現するセンスのいい空間を目指そう。

目の前にあるものを見つめながら自分の価値観を自覚するようになれば、自然に持ちものも減っていくと考えたい。人と人とのつながりを大切にする温かな人柄を目指し、軽やかな生き方を続けたいものである。

家族で走り抜いた三十三カ月



Illustrated by
Reona Nishinaga

仕事柄途上国への海外赴任がある太郎は「家族そろっての駐在」を楽しみに、いろいろ思い描いていた。

そして訪れたスリランカ・コロンボ。家族が到着してひと月もたないイースターの日、コロンボを中心に連続爆破テロが勃発する。

スリランカでの生活は「学校閉鎖」から始まった。

(仮名)

取材・文 高田 和子

心細かった最初の駐在

太郎の最初の駐在地はフィリピンだった。妻の恵子はあとからひとりでフィピンに渡ったが、海外生活の経験はなく「夫が迎えに来てくれなかったら、携帯電話もない状態でどうしよう」と不安で飛行機の中から泣いていた。

「空港まで迎えに行ったのですが、恵子は泣きながら出てきました」と太郎。住居はビジネスの中心地マカティ市。高級な商業施設も集中し治安もいい。通

いのメイドさんは小さい子を親戚に預けて田舎から出稼ぎに来ている人だった。買い物に連れていってくれたりアイロンがけや洗濯をしてくれたりするだけでなく、フィリピンで生活するうえでのさまざまなことを教えてくれた。いまでも彼女とはFacebookでつながっている。四年後、恵子は家族同然の彼女との別れにまた泣いた。

待望の家族そろっての海外生活

帰国後十年ほどしてスリランカ駐在が決まった。家族は長女の美子と次女の英子（仮名）が加わり四人になっていた。

美子の小学校の卒業式を済ませ、太郎より一カ月遅れて三人でスリランカに向かった。

「ふたりの子持ちになった恵子は最初の赴任時とは見違えるように頼もしく見えました」と太郎。

家族が引越した四月はスリランカの雨期だった。

「毎晩土砂降りの雨か雷雨で、眼鏡が結露するほどの湿度。都市部には高層ビ

ルやショッピングモールがありますが、一步道路を外れるとベニヤ板の屋台がひしめき合う商店街があり、現地の人々の活気を肌で感じるができます」

美子の見たコロンボだ。

公用語はシンハラ語とタミル語で、英語も使われる。仏教徒が七〇パーセントを占めるが、ヒンドゥー教、イスラム教、キリスト教の信者もいる。町はさまざまな宗教の建造物が混在する不思議な空間だ。

毎月満月の日は「ボヤ・デイ」という仏教の祝日で、学校や会社が休みになる。仏教徒は白い衣服を身につけてお寺に行き、仏教徒でない人も白いものを着る。

「日本では宗教が身近にないので子どもたちには新鮮に映ったようです」と恵子。

連続爆破テロが勃発

二〇一九年、イースターの四月二十一日に過激派イスラム組織による連続爆破テロが勃発。コロンボを中心に国内八カ所で大規模な爆発があり、そのうちのひとつが家族が住むコンドミニアムの隣のホテルだった。

その日から、ホテル近辺では軍が銃を構え、眼光鋭く警備を始めた。情報が錯

テロ後、外出もままならなかったで、コンドミニアムのプールでたくさん泳いだ



綜して何が起こっているのかわからないうえ、通信も遮断され、おもだったSNSは十日間ほど通じなかった。通じるのは日本のLINEだけだった。

「日本の友人とのLINEのやり取りにほんとうに救われました」と恵子。

コンドミニアムの下にあるスーバーは翌日開いただけで、それ以降は無期限閉鎖になってしまった。

「冷蔵庫は空だったの
で決死の覚悟で買い出し
に向かいました」と恵子。

コンドミニアムは襲撃されたホテルの隣だったため外出が制限され、不安な毎日だった。子どもたちはいまでも、タイヤが破裂したような音や爆竹のような音を聞くとギョッとするという。

外出もままならない生活のなか、メイドさんは家族のためにスリランカ料理をつくったり、いろいろな話をしたりしてくれた。おかげで家族は少し外の空気に触れる気分が味わえた。

コロナ生活をリセットする

英子はブリティッシュ系インターナショナルスクールの空気がなく、ひとまず日本人学校に通うことになっていた。一方、美子は同じインターナショナルスクールに合格はしていたが、入学手続きをしないうちにテロに遭ってしまった。そのまましばらくの間子どもたちの学校は閉鎖されてしまったのだ。

美子は毎日家にいて、ただただ「インターに行きたい」と繰り返し続けたが、ある朝、「『疲れた』と静かに泣きだしてしまった。その姿を見て、恵子は『まづいな』と思ったと言う。

「その日、みんなそれぞれ我慢していたものを泣いて吐き出しました」

そして恵子は「いったんリセットして帰国する」という結論を出す。太郎は理解しつつも「家族全員での駐在は最初で最後だろうから、いろいろ思い描いていたのに」と複雑な心境だった。

「私はまたスリランカに戻ることも考えていましたが、夫はもうみんなは戻ってこないだろうと悲観していました。つかかったらしく三日間ほど珍しくお酒を飲んでいました」

帰国後、美子が「ひと月前に『行ってくるね』と華々しく出てきたのに一カ月

で帰るのはいや」と言うので、三月までいた学区ではなく、恵子の実家の近くの学校に通学することにした。

五月半ば、晴れて中学生になった美子はしばらく学校になじめなかったが、合唱部でピアノを弾くことになってから学校生活がうまくなりだした。英子も小学校で合唱に誘ってもらい、それをベースに楽しく過ごすことができた。

ふたりは一学期間通学し、共に八月にNHK合唱コンクールに出場してからふたたびスリランカに向かった。

インターナショナルスクールは、テロの影響で帰国した子どももいたため、英子の学年にも空気ができていた。晴れてふたりそろってインターナショナルスクールに通えることになったのだ。

つかの間の平安な日々

美子は、初日にスリランカ人のクラスメイトに「オマエハモウシンデイル!」と言われた。それも素晴らしい発音で。

『北斗の拳』の主人公の決めゼリフだと知らずびつくりしました。同時にこのカオスな状況にワクワクしました」と美子。

その後も「センバイってどういう意味なの?」など、アニメファンの親日ぶりがよくわかる会話が行き交った。



最初は英語に苦勞した美子は、プレゼンなど事前に準備できるものに力を入れて弱点を補う努力をした。

話す力を補うべく課題の提出でがんばった。物理で提出した過冷却水の研究では、まず過冷却水をつくり、それに衝撃を与え一瞬で凍っていく様子をパソコンスキルを駆使してビジュアル的に映えるものに仕上げた。さらにBGMまで丁寧につけて提出した。

「振動を与えないように、冷蔵庫を使うときは家族で気を遣いました」と恵子。その結果、クラスの最優秀賞として先生からカギの形のボールペンが贈られた。それは英語に劣等感を抱えるなか、とても大きな自信になった。

「メイドさんに『明るい未来への扉を開くカギ』と言われました」と恵子。

クリスマスに校庭に設置された手動式観覧車



勉強はたいへんだった。特に美子は中学生レベルの授業に英語でついていかなくはならない。持ち前のリスニング能力と不思議な勘で、内容はなんとか理解できたが、話すのは難しかった。

英子はジュニアの水泳大会で二十五メートル自由形に出場した。その力強い泳ぎに恵子もビックリしたという。トップでゴールして、満面の笑みだった。

テロ後、コンドミニアムのプールくらいにしか遊びに行けないなか、根気よく練習を続けたのが実を結んだようだ。

インターでの行事

学校行事で恵子の思い出に残ったのはUNデイだ。親たちが出身の国や地域のブースを出すイベントで、竹を調達して竹林に見立てたJAPANESEブースでは七夕飾りをつくり、大量の海苔巻きをふるまった。日本人の母親たちが団結して準備に臨み、テロ以降散り散りになっていた横のつながりを取り戻すことができた。美子と英子は浴衣を着て友人たちと元気にブースを回った。

「ふだん目にする機会がない子どもたちの様



UNデイでの英子 コロナ前に飲食を扱うイベントに参加できた貴重な体験

子を垣間見ることができ、たくましさを感じました」と恵子。

各国の民族衣装が目にも鮮やかで、それぞれの国に思いを馳せるよい機会になったようだ。

クリスマスに移動式の大がかりなアトラクションが校庭に設置されたのには驚いた。観覧車が手動だったのだ。

一月には英子の二泊三日の林間学校があった。バスに乗り込むまでは不安そう

な表情で、恵子も心配していた。林間学校では川を渡ったり、山登りをしたり、さまざまなアクティビティを楽しんだらしく、英子は出発時とは違うリラックスした顔で戻ってきた。

「女子同士の口論の様子を詳細に家族にレポートしてくれました。周りの状況を理解できていたようです」と恵子。

こうして軌道に乗りはじめた学校生活。けれどもたった半年でまた中断する。子どもたちは世界を襲った新型コロナウイルスの感染拡大に翻弄されるのだった。

(次号後編に続く)

本欄では取材対象家族を募集しています。50ページのEメールアドレスへお気軽にご連絡ください。

かえるのほんや



やぎたみこ 作
PHP 研究所
税込価格 1,430円

沢山の蛙が池のほとりの柳の木に向かっている。根元の穴に入ると、そこは蛙の本屋。店長が絵本を読んでくれる。おたまじゃくしに人気の絵本は『たまごからかえる』。奥には、草の実や蓮の茎、蛇の抜け殻など身近な素材で絵本を作る工房である。

ライオンのこころ



レイチェル・ブライト 文
ジム・フィールド 絵
安藤サクラ 訳
トゥーン・ヴァージンズ
税込価格 1,650円
THE LION INSIDE
by Rachel Bright

誰にも気付いてもらえないくらい体が小さい野ネズミの憧れは、声が大きく、強い力を誇るライオンだ。せめて大きな声で吠えることが出来たら毎日が楽しくなるはずと悶いた野ネズミは、その教えを乞うためにライオンの所へ行く決心をする。

作家や画家が集まり編集会議で次作を検討する中、思わぬ事件が……

本屋の裏に続く森で、蛙が拾った平仮名の絵本をお手本にできた蛙の本屋。図形文字の蛙語を、見返しにある五十音対照表を使って読み解く楽しさに子どもは夢中になる。

壁一面の絵本を背に開かれるお話し会は、近所の図書館や文庫に通う日本の子ども達にお馴染みの光景。蛙の世界でも、豊かに暮らすためには絵本は欠かせない。絵本を読んでもらうひと時、自分を主人公に重ねて胸躍らせている。その姿に共感し、子どもはもう一回と声を弾ませる。(R)

一方のライオンは、強そうに見えるけれど、実は気が小さく怖がり屋。見た目とは正反対の二人が仲良くなったのは、体の大きさとは関係なく、ことばで伝えあうことだった。

誰の心にも、強さと弱さが存在する。そして見た目や大きさに臆したとしてもまずは話さなければ、相手を知る一步にはならない。

ジム・フィールドの描く優しく可愛らしい野ネズミは、自分を変えたいと決めた時の勇気とその裏側にある怖さ、そして一歩踏み出してみないと見えない世界を子ども達に教えてくれる。

(N)

E・J・キーツの俳句絵本
春の日や庭に雀の砂あひて

エズラ・ジャック・キーツ 絵編
リチャード・ルイス
いぬいゆみこ 訳
偕成社
税込価格 1,980円

『ゆきのひ』や『ピーターの口笛』等の絵本でお馴染みのキーツが、俳句をモチーフに絵本を仕上げた。

俳句は世界で一番短い詩。十七音で、その季節も情景も思いも伝える。この日本の伝統文化は、多くの人に英訳されているが、その中から R・

なぞなぞのすきな女の子



松岡享子 作
大杜玲子 絵
Gakken
税込価格 990円

なぞなぞが大好きな女の子がいた。一緒に遊ぶ友達を探しに森へ出かけると、そこには、お腹をすかせた狼が……。女の子は狼になぞなぞを出し、狼は答えがなかなか見つからないので、目をつぶってずっと考え込んでいたのだった。

ルイスが二十三句を選び、キーツがその光景をコラージュで描いた。小林一茶他十名の句だが、いずれも分り易く楽しい俳句ばかり。

その英訳をいぬいゆみこが更に和訳しているのだ、元の句と、英訳を和訳した句を比べると、日本人と外国人の感性の違いが垣間見えて楽しい。幼い子もキーツの絵を見るだけで、その俳句の雰囲気を感じられるし、英語でも日本語でも俳句そのものでも、自分の好きな分野で豊かな時間を過ごすことができる。

犬の子のくわえて寝たる柳かな 一茶 (K)

なぞなぞは答えを考えることが多いが、自分で作って誰かに出題するのも面白い。まず、答えになる物の特徴を思い描く。すると、頭の中には色々なことが飛び交う。見返しには、女の子の作ったなぞなぞがいっぱい！ なぞなぞの魅力に惹かれて夢中になり、物語を読むことに慣れていなくても読み進んでいく。

作者がこの話を作ったきっかけは、指人形だった。指人形を使って話すと、子どもは直接狼や女の子と話することができる。

なぞなぞは、どこでも誰とでもできることは遊び。挑戦してみよう。(Y)

共学

法政大学国際高等学校

自由と創造性を
重んじる校風

二〇一八年度に「法政大学女子高等学校」から共学の国際高等学校に生まれ変わった。女子高時代の自由な校風はそのままに、国際バカロレア・ディプロマプログラムを実施する「IBコース」を設けるなど、よりグローバル化社会に対応した教育を行っている。キャンパスは、横浜市のなかでも東京郊りの鶴見区の住宅街にあり、



校舎

首都圏に住む多くの帰国生の通学圏に入っているはずだ。最寄りの京急・生麦駅からキャンパスに向かう途中、何人もの法

政国際の生徒とすれ違った。私服をファッションナブルに着こなした生徒もいれば、反対にきちっと制服を着ている生徒や制服をオシャレにアレンジしている生徒もいる。女子高時代から生徒の自主性に任せる教育方針のため、制服の着用は義務ではなく校則もないのだ。名物の体育祭前には、青・赤・ピンクなど団の色に髪を染めて盛り上げる生徒もいるようだ。

法政国際の場合は、自主性を重視した学びのスタイルが「責任が伴う自由」を自然に身につけさせているといえる。「本校の自由な校風は、大学が三年早く来たイメー」と、入試広報部の杉山剛先生。そのことば通り、大学のような単位制を採用しており、二年生から生徒一人ひとりが自分に合った時間割を組む。それに伴い「ホームルーム単位での授業」という枠組みもなくなるため、より自由に幅

広く友達関係を築きやすくなる。学びの場でも生活面でも、個性を尊重するシステムと空気が醸成されているのだ。

帰国生も伸びやかに学べる
環境

「アクティブ・ラーニング」を軸とした独自のカリキュラムで日本の教育指導要領を満たす「グローバル探究コース」（一学年約二八〇人）と「IBコース」（同二十人）に分かれており、いずれも帰国生入試を行っている。少人数制のIBコースは帰国生が多く、グローバル探究コースにも一学年十人程度が帰国生入試で入学。一般人試で入った海外在住経験者を含めれば、全体の一〇パーセント程度に上る。

「単位制なので好きな授業を選べるのですが、



体育祭で

習熟度別の「コミュニケーション英語」など、Aさんでも「レベルが高い」と感じる授業も多い。第二外国語も選択でき、Aさんは、幼いころは少しできたがほとんど忘れてしまったという中国

私は英語をメインにとっています。同じ英語でも異文化理解を深める授業などもあって、幅広い英語力をつけられます」と語るのは、「グローバル探究コース」に帰国生入試で入った二年生女子のAさん。生まれて間もなく中国の上海に渡って六歳まで住んだあと、小学四年生から中学三年生の夏までシンガポールに滞在した。いずれの国でもインターナショナルスクールに通い、英語は流暢に話せる。「日本に帰ってきたら英語力が落ちてしまうと心配でしたが、法政国際に入ってからかえって伸びました。周りに向上心のある友達が大きいので、油断していたら抜かれてしまいます。そんな環境に背中を押されて、英語をがんばっているんです」と話す。

所在地：〒230-0078 神奈川県横浜市鶴見区岸
谷1-13-1
TEL：045-571-4482
URL：https://kokusai-high.ws.hosei.ac.jp
交通：京急「生麦」駅から徒歩5分
生徒数：911人（男子226人、女子685人）
帰国生数：50人
教員数：専任45人（うち外国人専任教諭1人、
外国人特別講師3人）
非常勤45人（うち外国人6人）
帰国生入試の出願資格：
帰国生 継続して1年以上海外に在留し、出願
時に帰国2年6カ月以内の者
海外生 出願時に海外の学校で学んでいる者
（学校種別は問わす）

語も履修している。

一方、杉山先生はこう話す。

「『国際高校なので語学力だけを
引き上げよう』という発想ではあ
りません。英語力が高い生徒もい
れば、かならずしもそうではない
生徒もいます。国際化とは、多様
な他者と交わる能力や批判的思考
を身につけること。もちろん、ネ
イティブスピーカーの授業を選択
するなどすればかなり高度な英語
力をつけられますが、英語ができ
ないとやっていけないということ
はありません」

どの教科でも、生徒同士でディ
スカッションをしたり、IT機器
も活用しながらプレゼンをしたり、

インタビューに答えてくれたAさん



レポートを書いたりというアクテ
イブ・ラーニング型の授業が非常
に多い。

「いわゆる『日本的』なスタイル
で型から入っていくことはありません。
海外で伸びやかにやってき
た生徒の個性がそのまま生きる学
校だと思います」

IBコースでは、数学なども英
語で学ぶイマージョン教育が実施
されており、IBディプロマ（国
際バカロレア資格）を取得するこ
とで海外の大学に進学する道も開
かれる。

「生徒も教員も、IBで身
につけた知見とスキルをグ
ローバルコースの皆にも広
げてほしいと考えています」と
と杉山先生が言うように、
IB生が学校全体へ与える
好影響への期待も大きい。
ほとんどの生徒が法政大
学への内部進学資格を得



プレゼンテーション大会の様子

くれるだけ
でなく、こ
うした個人
的な活動も
応援してく
れるとAさ
んは言う。
コロナ禍
で止まって

られ、約八割が実際に進学する。
残りの生徒は国公立や早慶上智な
ど他大学に進学。アクティブ・ラ
ーニングや国際教育で得た力が総
合型選抜で生かされる場合が多い
という。

ⅠTの活用や国際交流にも 積極的

Aさんは、インターナショナル
スクール時代に、カンボジアの小
学校に水洗トイレをつくるなど、
東南アジアの貧困地域でボランテ
ィア活動を経験した。高校に入っ
てからも生徒会で国際交流係にな
り、同様の活動を継続しようと動
いている。コロナ禍が落ち着いた
昨夏には、個人的にカンボジアに
渡り、学校に手洗い場をつくるこ
という現地の日本人グループが実施
したボランティア活動に参加した。
学校は生徒会活動をあと押しして

いた学校の国際交流プログラムも、
再開されようとしている。取材時
にはすでにドイツ、デンマーク、
フランスから留学生を受け入れて
おり、スウェーデンの姉妹校への
交換留学、オーストラリア、イギ
リス、カナダへのターム留学も今
年から再開する見込みだ。

国際高校になってから最も変わ
ったのは、男子が入ったことだ。
いまは女子の比率が約七五パーセ
ントと高いが、年々男子生徒の入
学が増えていくという。もう一つ
の変化は、IT化が急速に進んだ
こと。生徒全員にタブレット端末
が配布され、授業の多くのことや
連絡も端末上で行われる。そのた
め、コロナで一斉休校した際もス
ムーズにオンライン授業に移行で
きたそう。国際交流も、台湾、韓
国、スウェーデンなどの高校生と
オンラインで結んで継続された。

「楽しくてあつと言う間に二年間
が過ぎてしまった」と言うAさん。
「パンフレットやホームページに
もいろいろなことが書かれていま
すが、実際に入学したら想像以上
に楽しい学校です。いろいろな経
験をしている子が集まっているの
で、日々刺激的な生活が送れます」
（取材・文 内村 浩介）

二〇二二年十二月の交流会で、すべてのイベントを終えたJOES Davos Next 2022。現在、運営委員会と事務局では、今回の検証と次回に向けての検討が進んでいます。

その一環として実施されたインタビューから、参加者、保護者、教師、そしてファシリテーターの声の一部をお届けします。

(只木良枝)

「山中教授の話を開けるなんてすごく貴重な機会」(中2)、「これは絶対に参加したいと思った」(学校で参加した日本人学校教師)と待望して迎えた山中伸弥教授の基調講演は、「あつと言う間に時間が過ぎた」「録画でも迫力があつた」と、期待通りだったようです。子どもといっしょに講演を視聴した保護者からは「子ども向けにわかりやすく工夫して話されていた、私も勉強になった」「大学の勉強だけでなく、すべてのことが

あつと言った講演

グループワークでは、さまざまな出会いがありました。

「母が医師で、たいへんなのを見ていたので『私には無理』と思っていたけど、偶然グループのなかに医師になる夢を持つ子がいて、その話を聞いていたうちにやはり医師もいいたと価値を認識した」「自分の夢に対してほかのメンバーからコメントをもらって、思わぬ視点に気づかされた」

違う視点との出会い

最初は緊張した学年や年齢の違いも、回数を重ねるうちに気にならなくなっていくようでした。ファシリテーターのひとり、子どもたち同士が自発的に協働しながら議論を進めていた様子を話し、こうつけ加えています。

「私から見れば子どもたちは違う世代。『教える』モードになつてしまふのではないかと思つていましたが、子どもたちの発言から学ぶことも多く、いっしょにディスカッションできました。この経験は、将来私が違う世代の人たちといっしょに一つの課題を考えていくときに、きっと生きてきます」

世代が違う人々との協働は、まさにこれからの世界の課題解決にとって不可欠なこと。それを参加者のひとりであるファシリテーターが感じ取っているということに、JOES Davos Nextという新しい学びの場の価値と可能性を実感しました。

もちろん、講演会の時間配分やグループワークの日程、進め方についての意見や要望もたくさん寄せられています。運営委員会と事務局ではそれらを検証し、Davos Next 2023の企画を進めているところです。

Davos Next 2022、そして2023へ



参加者の声から

その後の成功に通じているというお話が印象的だった」「何でもやってみるといわずつながる、興味あるもののめり込みなさいというアドバイスは、まさにその通りだと思いました」などの声が寄せられています。

講演のあとに直接質問に立った子どもたちは、山中教授の気さくでユーモアあふれる人柄に触れて、ちょっと驚いたようです。質問した生徒を横で見守っていた日本人学校の教師は「ふだん冷静な子が、あんなに緊張しているのを初めて見た。人生の転換点になるような経験だったのでは」と語っていました。



ふくいけん

福井県

あいうえお順で紹介していきます。

と どう ふ けん
1都1道2府43県
～め・ぐ・り～

ちゅうぶちほう 中部地方にあり、にほんかい 日本海に面する一方、山々もある自然豊かな県です。日本海側気候で、県内全域が豪雪地帯に指定されています。ただし、日本海沿岸部は対馬海流の影響で冬も比較的温暖です。県鳥は「ツグミ」、県花は「スイセン」、県庁所在地は福井市。

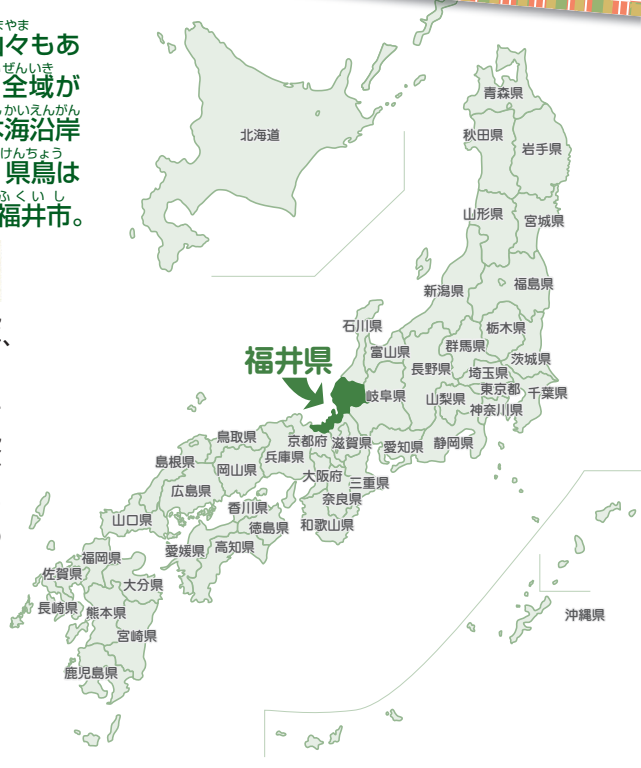
なんで、「福井」っていうの？

ふくいし 福井市は昔、「北庄」といいました。1624年、越後(現・新潟県)から松平忠昌が当地を治めに来た際、北庄の「北」は「敗北」に通じるとして「福の神が居住する地」「幸福に暮らせる地」を念じて「福居」と改称、1701年により簡単な字にしようということで「福井」に改称されたといわれています。

さて福井県の形は何に見えるかな？



カギ？



- 一般的には夏のイメージですが、福井県では冬に食べるのが定番というものは？
 A かき氷 B 冷やし中華 C 水ようかん D そうめん
- 世界的にも産地として有名で、鯖江市にはミュージアムもあるものは？
 A めがね B サンドル C タオル D 帽子

*クイズの答えは奥付(P.50)をご覧ください。



福井の名物料理

を紹介するよ～

ぼっかけ

うどんやそばにかけても美味しいよ！



「ぼっかけ」は福井県で100年以上前から食べられている郷土料理で、厚揚げやゴボウ、ニンジン、糸こんにゃくといった具だくさんの汁を炊き立てのご飯にかけて食べます。名前の由来は、アツアツの汁をご飯にぶっかけ(ぼっかけ)ることからというものや、帰ろうとする客人を追いかけて(ぼっかけて)引きとめられるほどおいしいからという説もあります。具材や味づけは地域によってさまざま、わさびや海苔を添えてお茶漬けのようにして食べるところもあるようです。



先生とわたしの距離が
センチメートルのオンライン授業って?

文
教
学
院

我が子のように
向き合い続けて
祝 開校 40 年

いっしょに、がんばろうね

愛のある指導

文教学院のネット塾

✓ ライフスタイルに合わせて

世界中どこにいても、あなたの生活時間に
合わせて授業スケジュールを組めます。

✓ 安心・気軽

家庭教師のように家族が気を使わなくても大丈夫!
塾のような、行き帰りの心配もありません!

✓ Face to Face

顔をみながら紙とペンで授業を進めるので、
大事なところが記憶に残ります。



生徒さんは自分の
ノートに書き込みます

生徒さんのノート

講師のノート

海外日本人学校・日本語補習校宿題コース好評開講中!

なんとこちらは、兄弟姉妹は**授業料無料**

兄弟
姉妹は

入会金

無料!

小・中・高対応

文
教
学
院

東京都世田谷区3-12-11

☎ 03-5799-6031

文教学院ウェブサイト ▶ <http://www.jyuku.info/>

お問い合わせ先 ▶ info@jyuku.info

Facebook ▶ <https://www.facebook.com/setagaya.bunkyo.gakuin>

文教学院 塾

検索



次代を創る人材に――



攻玉社中学校 併設/高等学校

〒141-0031 東京都品川区西五反田5-14-2

東急目黒線不動前駅より徒歩2分

TEL.03(3493)0331(代) <https://kogyokusha.ed.jp>

攻玉社 検索

国際学級

募集人員 男子40名

試験科目 ○国語・算数または英語
○親子面接あり

※詳細はHPをご覧ください

ニューヨークでバイリンガル教育

幼小一貫全日制教育

●日本の文部科学省のカリキュラム準拠+現地校英語

日英バイリンガル教育 (NY 育英 Cross Method)

- ★毎日1時間の英語+金曜日1日英語
- ★1週間の1/3が英語学習
- ★充実の7段階習熟度別の英語クラス編成
- ★ネイティブレベルは現地校のランゲージアートの教科書を使用



- 様々な放課後クラブ活動
- 専門家による専科学習(書写、音楽、図工)
- ドアツードアのスクールバス送迎
マンハッタンへは3便、NJ地区は5便運行
マンハッタンミッドタウンから車で20分
- 付属語学教育施設での
選択制土曜日 英語・日本語クラス設置

関連施設

- ・現地校在籍者のための補習授業校部門
(NJ州・マンハッタン・NY州Long Islandに設置)
- ・サマーデイクャンプ・スキーキャンプ・各種検定海外会場



米国非営利学校法人
創立1979年

ニューヨーク育英学園
Japanese Children's Society

www.JapaneseSchool.org

(お問い合わせ)

info@nyikuei.org

マンハッタンキャンパス プレンスアカデミー 全日制たんぽぽ幼稚園

310 West 103rd St., New York, NY 10025 Phone: (212)935-8535

ニュージャージーキャンパス 全日制/幼児部・小学部

8 West Bayview Ave., Englewood Cliffs, NY 07632 Phone: (201)947-4832

大連日本人学校



渤海を望む



ロシア街にて



Japanese School of Dalian

URL <http://www.japanda.cn>

児童生徒数 小=73人 中=18人

花咲く街「大連」

大連市は、中国東北部の遼東半島最南端にある。東に黄海、西に渤海、南は海を隔てて山東半島と向かい合っている。四季ははっきりしていて、春には桃、桜、リラ、アカシアが花を咲かせ、秋にはリンゴの香りが漂う。季節ごとの花々が街ゆく人々の心を和ませてくれる。

帝政ロシアや日本が統治した時代の街並みを残しながらも、高層ビルが建ち並び、日々目覚ましい発展を遂げている。

二十世紀初頭から日本とのつながりが強く、近年、多くの日本企業の進出もあり、そのつながりはさらに強まっている。

大きく花開け、大連っ子

本校は、前身の大連補習授業校（一九九〇年開校）を経て、九四年度に日本人学校



校舎全景



小学部2年 生活科 秋みつけ



小学部5年 中国語 日本の学校との交流会

として認定された。校舎は二年前に現在の所在地に移転し、新校舎で日々教育活動を行っている。小学部・中学部合わせて九十一人が在籍。どの子も明るく仲がよいのが、本校の自慢である。

二〇二二年度は学校重点目標を『まなび』『こころ』『からだ』のバランスの取れた国際感覚豊かな児童生徒の育成』として、特に言語活動の充実やコミュニケーション能力の育成に力を入れてきた。新型コロナウイルス感染症対策としてオンライン授業を行い、在宅での学習が多くなったり、現地校交流や校外学習が大幅に制限されたりすることもあった。そのなかで、少しでも子どもたちの学びを成立させようと教職員が一丸となって教育活動を進めている。

【特色ある教育活動】

〈中国語の授業の充実〉

中国語を小学部から中学部までの全員が履修している。学習内容は、中国語の習得



小学部6年 総合的な学習の時間
旅順平和学習



小学部遠足 パンダを見学



中学部 芋料理づくり



小学部5・6年 中国語 朝鮮族のかたをゲストティーチャーに迎えて



小学部3年 国語 おみそづくりの先生をゲストティーチャーに迎えて



子どもたちから

この学校では、校外学習がたくさんあって楽しい。(小6)

日本の学校では、中国の歴史や中国語を学びませんが、この学校は、中国のことをたくさん学びます。(小6)

人数は17人くらいで、毎日楽しい学校生活を送っています。学年関係はくみりばかりで仲良しです。(小6)

だけでなく、中国の歴史や文化を体験的に学ぶことを大切にしている。そのため、日本とのつながりや相違など気づいたことを発表する場を意図的に設けている。

今年度は、中国の朝鮮族のかたをゲストティーチャーとして招き、中国東北部吉林省の自然・文化や民族衣装についてわかりやすく学ぶことができた。

〈外国語活動の充実〉

外国語活動の時間では、ニュージーランドのかたをゲストティーチャーとして招き、ニュージーランドの自然や文化、先住民について学習を行った。

講師のかたから生きた英語ばかりでなく、ニュージーランドの素晴らしさについて自然に学ぶことができた。

〈日中の歴史的つながりを学ぶ旅順平和学習〉

小学部6年と中学部3年が毎年、大連市郊外にある旅順へ行き、平和学習を行っている。直接、現地を訪れ、肌を感じたことを

自分なりにまとめ、発表する場を設けている。

〈学年、学部の枠を超えた縦割り班活動〉

本校の児童生徒は、明るく、優しい子どもが多い。新しく加わった友達に対しても心遣いができる。一方で、兄弟姉妹がいな家庭も少なくなく、友達や縦のつながりが希薄になりがちである。そのため、縦割り班活動を意図的に設けてコミュニケーション能力の育成をはかっている。特に小学部一年から中学部三年まで一堂に会して行う「なかよし集会」では、小学生に一生懸命に接する中学生の姿が印象的である。

【今後について】

二〇二三年度も学校重点目標を「まなび」「こころ」「からだ」のバランスの取れた国際感覚豊かな児童生徒の育成」とし、着実に教育活動を進めていきたい。そのなかで、子どもたちが力を伸ばし、大輪の花を咲かせてほしいと考える。

(二〇二三年一月現在)



シドニーのアイコン
オペラハウス



シドニー市街の様子



ノースショア 補習授業校

ノースショア日本語学校
North Shore Japanese School

URL <https://nsjs.com.au>

児童生徒数 幼=39人 小=68人 中=15人 日本語学級=11人

シドニーの大きな青い空の下で

日本から飛行機で約九時間半、オーストラリアのシドニー北部に、本校ノースショア日本語学校はある。オーストラリアは移民を受け入れる多文化多言語主義を掲げているため、子どもたちが出身国の言語 (Community Languages) を学習することを奨励している。この背景をもとに本校は、ニューサウスウェールズ州教育省傘下のコミュニティ言語学校 (Community Language School) として、二〇一一年二月に三十三人の子どもたちによる四クラス体制で開校した。開校以来はや十二年、現在在籍者数は一三〇人を超え、幼稚園年中から中学部二年まで全十六クラスを設けている。

通りから見た借用校舎

借用校は市内から車で二十分ほどの緑豊かな郊外にある公立のハイスクール。なので子どもたちが遊べる遊具はないが、広々とした敷地には野生の

うさぎやブッシュターキー(野生の七面鳥)が現れ、子どもたちを楽しませられる。本校は州教育省および日本政府の助成を受けている。

自分のペースで学習できる環境づくり

シドニーには日本人学校があるが、そのほかにも本校と同様にボランティアが運営して土曜日などに授業を行う補習校(以下「土曜校」)が現在十校ほどある。日本と同様のペースで学習を目指している学校や継承語としての日本語学習を目標としている学校などがあるが、本校の目標は「ここシドニーで育つ子どもたちが、楽しく、かつ有意義に、自分のペースで日本語を学べる場の提供」である。このため本校では教科書コースと教科書を使わない日本語(継承語)コースを設けている。二つの学習コースを併設することで、どんな日本語力の子どもでも自分のペースで学べる環境を整えている。

本校の特徴はまず、教員がつくる学校とということが挙げられる。多くの土曜校は保護者の有志が子どもたちのためにボランティア運営をしているが、本校は日本語教師兼保護者でもある者が開設・運営している。学校代表が教員であることの利点は、指導の充実がはかれることにある。土曜校というと教員は自分が担当するクラスのみを指

幼稚園年長組と鬼になった4年生



9月の運動会 紅白玉入れ

8年生

3月のお習字会



4年生 日本事情の授業
てるてる坊主を作製中



11月の学園祭
食べ物の出店の様子



3年生 集会発表



幼稚園年長 ひな祭り



子どもたちから

わたしは国語の教科書のお話を読むことが好きです。(12)
おまつり、運動会、おもち作り。
楽しいことがいっぱいある土曜校が好き。(14)
土曜校の先生と友達が好き。(17)

導することが多いが、本校では学内での一貫した指導計画がある。指導の現場がわかる教員が学校代表であることで、各教員への指示や連携を強め、同じ目標に向かって指導できる。

二つ目の特徴は、ひとクラスの人数を十人程度にしていることである。そのため、教員がクラスの子どもたち一人ひとりの学習ぶりをじっくりと見ることが出来る。教員と子どもたち、保護者の関係は密になり、学習を超えたつながりもできる。これは土曜校の学習にはとても大事だと考える。これがないと土曜校の在籍率は低くなるし、子どもたちの学習の動機も弱くなるからである。この成果が生徒会の発足につながった。土曜校に生徒会というのは珍しいと思うが、つながりを大事にしている学校だからできたと思う。

本校の三つ目の特徴は、「全員参加(子どもたち、教員、保護者)の学校」というモットーである。本校の日本語学習は日本文化と抱き合わせているため、他校と比べて学校行事が多い。これは「子ども目線の学校づくり」を意識していることである。各行事での保護者の役割は大きく、親の参加を促すことで、子どもたちの学習意欲の向上もねらっている。親が参加すると土曜校のことが家庭の話題になる。「学校と家族」の連携が子どもの学習や成長には不可欠であると考え。数ある学校行事のなかで周辺地域の住民も招く学園祭は本校の最大のイベントであるが、学校総出で行うことで学内の連帯感も生んでいる。

役員や教員の不足、教員の給与・社会的地位の低さ、日本人コミュニケーションの希薄な連携など、土曜校が抱える問題は昔もいまも変わらないと思う。本校は昔からの悪しき慣習を打破し、進化した土曜校を目指している。将来、世界のかけ橋となり、世界平和を守る子どもたちが本校で豊かな心と知識を醸成できるよう、個々の子どもが気持ちよく学習し、日本語の力を伸ばし、「この学校でよかった」と子どもも親も思えるような学校づくりを心かけている。本校の中心はなんといっても子どもたち。シドニーの複数言語間で育つ子どもたちの健やかな成長を願ってやまない。

(二〇二三年十二月現在)

ポート・オブ・サクラメント 補習授業校校歌

一

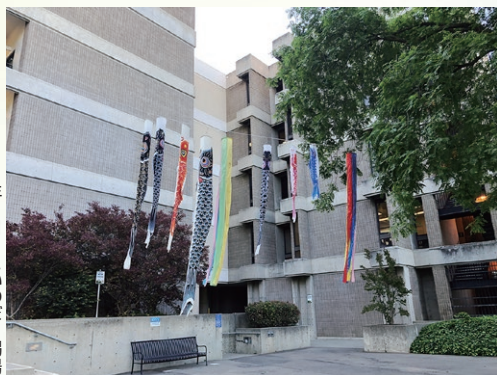
シエラ・ネバダの大連山
澄み切った青空の下
アメリカ河を 母にして
州都サクラメント補習校
みんなが学ぶ日英言語
めざそう、ちっちゃい地球人
世界に向かって飛び出そう

二

シヤスター山^{さん}の大高原
大自然に育つセコイア
サクラメント港^{みなと}を父にして
カリフォルニア黄金の都^{まち}
みんなで習う日米文化
励もう、ちっちゃい地球人
世界を夢見てはばたこう

ホームページからポート・オブ・サクラメント補習授業校の校歌を聞いてみよう
sacramento-hosyuko.org

作詞 林ヶ谷昭太郎
作曲 山田多賀乃



2023年5月 このほり掲掲

世界にはばたく
「ちっちゃい地球人」

本校は一九七八年に創立され、今年で四十五周年を迎えました。アメリカ・カリフォルニア州の州都であるサクラメントは、ゴールドラッシュに伴って輸送拠点として発展した町で、オールド・サクラメントと呼ばれる地区の周りにはいまでも鉄道と港があります。本校創立の発起人には当時の港湾局長が名を連ね、また創立当初は港湾事務所の一 corner を借りて授業をしたそう、サクラメント港は学校の名前の由来にもなっています。

本校は創立者、林ヶ谷昭太郎先生の教育理念に導かれて、苦労を重ねながらゆつくりと発展してきましたが、校歌は長い間つくられませんでした。校歌をつくっても、そこに込められた教育の理想と現実が乖離^{かいり}しているという意味がないとの林ヶ谷先生のお考えからだったようです。

しかし三十周年を迎えた際、校歌がないのは「さび

しい」という声が出て校歌をつくることになり、林ヶ谷先生が詞を書き、曲は当時の理事の友人である作曲家、山田多賀乃さんに依頼することになりました。林ヶ谷先生は歌詞の内容と曲が調和する心配されたそうですが、理事が山田さんをサクラメントへお招きし、一週間かけて北部カリフォルニアの雄大な自然と町の様子を視察して歌詞の意味を体得していただいたのだそうです。

後日、山田さんから送られてきた三曲を、校長・教頭・理事三名と地元の音楽家が夜中に集まって車の中で聞き比べ、現在の曲が選ばれました。こうして本校の教育モットーである、世界にはばたく「ちっちゃい地球人」とサクラメント近郊の風景が見事に表現された躍動感あふれる校歌が完成し、以来十五年間歌い継がれています。校歌を歌う機会は入学式・卒業式と運動会の年三回ほどしかありませんが、子どもたちは校歌をよく覚えています。校歌に込められた林ヶ谷先生の想いが校風となっていて、いまの保護者・先生・児童生徒たちへ受け継がれていることの証しだと思います。

海外赴任が決まりました。 日本人学校、インターナショナル スクール、現地校、どう選べば いいのでしょうか

海外子女教育振興財団
教育アドバイザー

橋本 芳登



<プロフィール> (はしもと よしと)

大阪府の公立小・中学校で教諭、教頭、校長を歴任。大阪府大東市教育委員会指導主事として3年間勤務。1995年の広州日本人学校(中国)創立時に教諭として、2016年からはヨハネスブルグ日本人学校(南アフリカ)に校長として勤務。2019年より海外子女教育振興財団の教育アドバイザーを務めている。

はじめに

海外でお子さんが学ぶ学校は日本人学校かインターナショナルスクール(以下インター校)、あるいは現地校になります。地域によっては必然的に学校が決まってしまうケースもあります。が、選べる場合は学習内容よりも「日本語で学ぶか」「英語や現地語で学ぶか」という言語環

境の違いで迷っていることが多いのではないのでしょうか。

「せっかくの機会なのでインター校で英語を学ばせたいと思うのですが、日本語も大事です。ので迷っています」という相談も増えています。そこで学校を選択するときの参考にしていただければと思います、それぞれの学校の特徴と通わせる際の留意点をお伝えします。

1. 日本人学校の 特徴と留意点

現在、アジアや北米をはじめ世界各地に九十四校の日本人学校があります。義務教育期間だけでなく幼稚園(十七校)や高等部(中国・上海のみ)が併設されているところもあります。また、小学部と中学部の児童生徒数を見ますと二〇〇人以上の大規模校から五十人以下の小規模校まであり、その特色もさまざまです。

日本人学校は現地の日本人会等が主体となつて設立され、日本人会や進出企業の代表者、保護者の代表等からなる学校運営委員会によって運営されています。経費は授業料などの保護者負担金、企業・団体からの寄付金、および日本政府からの援助金によって賄われている公的な性格を持つ私立学校です。

国内の学校と同等の学習指導要領に準じた教育課程を有するため、日本の学校と学習の連続性が保たれ、日本人学校の中学部を卒業する者は国内の中学校を卒業する者と同等以上の学力があると認められます。

指導は「海外の子どもたちの教育活動に携わりたい」というやる気を持った先生たちが日本全国から文部科学省の選考に合格して派遣されるなどして、最新の指導方法で子どもたちを指導します。

日本人学校では、それぞれ設置されている国や地域の環境を



クアラルンプール日本人学校幼稚園 中学生とのZoomでの交流

生かした語学教育（現地語・英語）や現地理解教育を小学校の低学年から行っているところが多くあります。現地の学校や幼稚園等と定期的に交流を持ち互いの文化を紹介し合って国際的な資質を育てるなど貴重な経験をすることになります。

さらに、母語の基礎は九歳で確立し、この基礎があつて初めて日本語で深い思考ができるといわれていますが、海外で幼児期から母語を年齢相応に学

ぶことができる日本人学校の環境はたいへん貴重といえます。

日本人学校は子どもたちの転入・転出が多く、歓迎会やお別れ会が頻繁に行われます。また通学はスクールバスで行われているのが一般的です。小規模の学校が多いのですが、一クラスの数人が十人以下の場合には授業中に何度も発言する機会があったり、いろいろな係を任されたりすることもあります。

日本国内の一般的な学校とのこのような違いは、帰国後のカルチャーショックにつながるおそれもあり、注意が必要です。

2. 現地校の特徴と留意点

現地校は、その国のよき市民となる人間を育てるための学校で、その国の法律や教育制度のもとで教育が行われ、その国の言語が使用されます。

義務教育期間は国によって異

なり、一般的には九年が多く十一年から十三年という国もあります。

義務教育年齢にあたる子どもへの入学・編入学は、その学区内に正式に居住する手続きをして、その国・地域の居住者としての義務や責任を負う立場が明確になれば許可されます。ただし滞在する国や地域によっては、法律・言語・宗教などの問題から外国人への入学・編入学が認められないケースもあります。

義務教育の期間や学年制度、年度の始まりと終わりの時期や就学基準日は国や地域によって異なるため、外国の現地校に入学・編入学する場合、かならずしも日本と同じ時期に同じ学年になるとは限りません。

逆に日本に帰国して公立の学校に入る場合、義務教育期間中（小学一年から中学三年まで）であれば、海外においてはどの学年であっても、帰国後は年齢相応の小学校・中学校の学年に

編入できます。ただし高校や大学等は義務教育ではありませんから、国内の義務教育修了、あるいは高等学校修了と同等の資格を海外の現地校で得てくる必要があります（インター校も同じ）。

現地校（インター校）へ通う際は日本の学年での基本的な学習内容を理解しておき、帰国したときにまったく授業についていけないということのないようにしておくことが大切です。

特に漢字の学習で困っているという相談が帰国前のかたからよくあります。滞在する都市に補習授業校がある場合には、ぜひ通わせてください。

補習授業校では日本の教科書を使って基礎的な学習が行われていて、日本語でコミュニケーションが取れます。日本の学習に触れられるほか、海外に行つたばかりのお子さんにとっては英語での生活のプレッシャーから解放されホッとできる心のオ

アシス的な存在になります。滞在する都市に片道二時間以内に補習授業校があれば通わせる価値は十分あると思いますので、ぜひご検討ください。

日本人学校か、あるいは現地校やインター校かと問われた場合、基本的には滞在期間が二年以内ならば日本人学校を選択することを提案しています。これは一般的に生活言語を習得するのにかかる期間が二年間といわれているからです。さらに母語を習得する前のお子さんに対しては、まずは日本人学校で母語を身につけることをお勧めしています。

3. インターナショナル スクールの 特徴と留意点

インター校はその国に住むさまざまな国籍の子どものために設置・運営されている学校です。多くは、幼稚園から高校

まで一貫教育を行っています。

インター校では英語をおもな言語とし、用いられる教育課程はアメリカ式、イギリス式、国際式（IB）の教育制度に準拠している場合が多く、なかには複数の教育課程を採用しているところもあります。

インター校では、英語が母語でない子どもたちのためにESL（English as a second language）プログラムが用意されている場合が多いですが、指導内容や指導方法は学校によって異なります。初めて海外の学校で学ぶことになった学齢が高いお子さんにとつて、どの学年まで語学サポートを受けられるかは、インター校を選択する際の重要なポイントになります。

習慣や考え方、行動の仕方が異なる子どもたちと机を並べて勉強することでグローバル人材としての資質や能力を身につけることができると考え、インター校を選択する保護者が増えています。

います。

さまざまな国籍の子どもが在籍しているインター校で友達をつくるには、相手があるがままに理解し、認め尊重する態度が大切です。このような態度を身につけることにより、国際的視野、国際的判断力等が自然と養われていきます。

インター校へ通う際は学校のステータスを調べる必要があります。その学校を設置した本国の教育に準じたカリキュラム・教師陣を備え、国際的な評価団体の認定を受けているかどうかは在籍中や卒業後の資格がどのようなものになるかを左右します。これはその後の進学等に大きく影響しますので慎重に行ってください。

最近では日本人の進学実績や国際的な認証機関による認定の有無、国際バカロレア（IB）認定校などについてインターネットでも調べられますので参考にされるとういでしょう。

終わりに

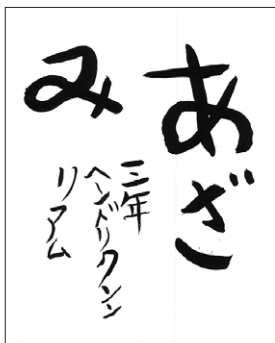
海外でのお子さんの学校選択は「滞在期間」「子どもの学年」「子どもの資質（性格、生活習慣、関心、学習能力や意欲等）」「現地の教育事情」「家庭の教育方針」等の観点からご家族でよく話し合っ決めてください。そして決めたら、選んだ学校での生活や学習に最善を尽くしてください。結果としてどの学校を選択されても、最善を尽くせばお子さんにとつて貴重な日々になることは間違いありません。



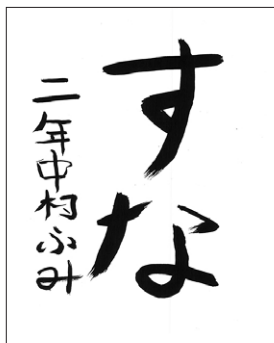
ロンドン補習授業校 書き初め

グレートールイビル補習授業校（アメリカ）から、
書写作品が届きました。

小三 ヘンドリックソン リアム



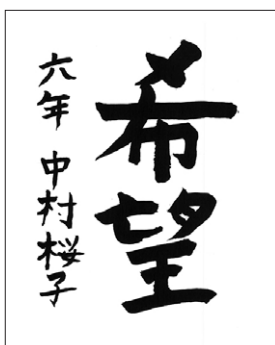
小二 中村 芙美



小一 田口 杏和



小六 中村 桜子



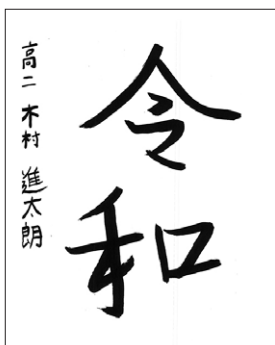
小五 伊藤 太智



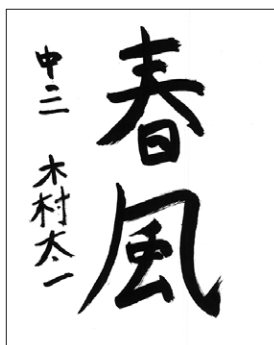
小四 矢野 灯



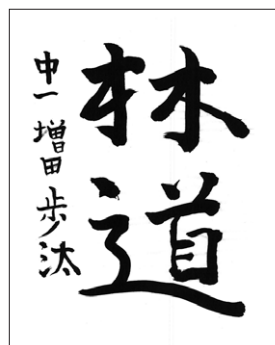
高二 木村 進太郎



中三 木村 太一



中一 増田 歩汰





教育相談

本財団の教育相談をご利用ください

海外滞在中および帰国後に、お子さんが安心して教育を受けられるよう、専門の教育アドバイザーが個別にご相談におこたえします。

出国前

- お子さんの出国時期
- 現地教育事情
- 学校選択（日本人学校・現地校等）
- 出国前の外国語学習準備
- 母語の保持・育て方
- 現地生活事情
- 海外の学校での学習内容・方法

滞在中

- 現地での転学・進学
- 通信教育での学習
- 日本語力低下の懸念
- 統一テスト等の制度（IB・SAT・GCEなど）
- 編入受け入れのある学校
- お子さんの帰国時期

帰国後

- 小学校～大学の学校選択
- 受験資格
- 外国語の保持
- 遅れている学習のキャッチアップ
- 友人関係等を含む適応問題

※2023年3月現在、新型コロナウイルスの影響で面談相談は中止し、オンライン会議システムを使った相談を中心にしています（電話・メールでのご相談も可）。最新情報はウェブサイトでご確認ください。

※面談・電話・オンラインでのご相談は1家族1時間。予約制です。

※維持会員企業・団体に所属するかたとそのご家族のかたのご相談は無料です（維持会員一覧は下記本財団ウェブサイトに掲載しています）。

教育相談とは別に、教育や学校生活にかかわる次の情報等は随時提供しています。

お気軽にお問い合わせください（予約不要・無料）。

- 赴任地の学校情報（日本人学校、補習授業校、現地校・インターナショナルスクール）
- 日本人学校・補習授業校の入学・編入学手続きや授業料・授業時間数などに関する情報
- 国内の学校情報（帰国生選抜を実施する小学校・中学校・高等学校・大学等のほか約90の教育委員会）
- 渡航前および帰国時の学校関係書類の準備や各種手続きに関する情報

お申し込み・お問い合わせ先

公益財団法人 **海外子女教育振興財団**

URL <https://www.joes.or.jp>

教育振興チーム

TEL 03-4330-1352 FAX 03-4330-1355 E-mail sodanjigyo@joes.or.jp

〒105-0002 東京都港区愛宕1-3-4 愛宕東洋ビル6階

外務省・文部科学省の二〇二二三（令和五）年度 在外教育等関係予算政府案決まる

このほど二〇二二三年度の政府予算編成が行われ、外務省・文部科学省の在外教育等関係予算の政府案が発表された。それによると、両省合わせた総額は三三六億四二〇〇万円（対前年度比約五・二パーセント増）となっている。その概要は以下の通り。

《外務省予算案》

外務省では、従来より海外子女教育関係予算の充実・強化に努めてきている。二〇二二三年度予算政府原案においては、校舎借料、現地採用教師謝金に加え、日本人学校設備等の老朽化・耐震化対策やスクールバスに配置する警備員謝金を含む安全対策支援の予算要求を行った。また世界各地の日本人学校・補習授業校運営委員会等からの要望事項を精査のうえ、必要とされる諸経費を計上している。

その結果、二〇二二三年度外務省予算政府案における海外子女教育関連の総額は、約四一億五〇〇〇万円となっている（対前年度比約六億七〇〇〇万円、約一九パーセント増）。

1. 日本人学校

(1) 学校施設に対する支援
校舎借料支援を含め、施設面での支援として約十一億円を計上

している。

(2) 現地採用教師謝金支援
約六億二〇〇〇万円を計上している。

(3) 安全対策支援
ガードマン雇用費（スクールバスに配備するガードマン雇用費含む）および警備機器維持管理費、学校施設の強化経費および老朽化・耐震化対策経費を支援対象とし、総額約八億五〇〇〇万円を計上している。

2. 補習授業校

(1) 学校施設に対する支援
校舎賃貸借料の支援費として約四億五〇〇〇万円を計上している。

(2) 現地採用講師謝金支援
約十億三〇〇〇万円を計上している。

(3) 安全対策支援
ガードマン雇用費および警備機器維持管理費を支援対象とし、総額約一億円を計上している。

《文部科学省予算案》

急速な社会のグローバル化の進展に伴い、企業等の海外進出により帯同する子供の教育環境の整備・充実が不可欠であり、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度や、豊かな語学力・コミュニケーション能力、主体性・積極性、異文化理解の精神等を身に付け、様々な分野で活躍できるグローバル人材の育成の推進が求められている。

二〇二二年六月に「在外教育施設における教育の振興に関する法律」(令和四年法律第七三号)が公布・施行され、在外教育施設における教育の振興についての法的位置付けが明確となった。国内と同等の学びの環境整備や「選ばれる在外教育施設づくり」に向けた特色化支援など、在外教育施設がグローバル人材の育成や国際相互理解の増進に寄与するための取組

推進を図るため、また、高校生の国際交流を促進することや外国人児童生徒等の教育の充実を図ることとしており、グローバル社会における児童生徒の教育機会の確保・充実のため、総額一九五億円を計上した。

1. 在外教育施設教員派遣事業等

在外教育施設への教師派遣等に係る経費として一七六億九七〇〇万円を計上。在外教育施設派遣教師数は二〇二二年度に比べ倍増となる二十人を増員し、計一三六一人を派遣するために必要な経費を計上。

2. 海外子女教育推進体制の整備

在外教育施設の認定、安全対策、スクールカウンセラーの派遣、教育・運営に係る指導・助言を行う「在外教育アドバイザー」の設置、「選ばれる在外教育施設」づくりに向けた特色化を推進するため、在外教育施設ならではの教育プログラムや国際交流の促進などの優れた教育プログラムを支援する在外教育施設重点支援プラン、派遣教師の魅力を高めるために、帰国教師の能力や知識、経験を国内に還元・共有する帰国教師ネットワーク構築事業に係る経費として、九七〇〇万円を計上した。

3. 海外子女教育活動の助成

在外教育施設における教育指導の充実のため、在外教育施設教材整備事業補助等に係る経費として、一億三三〇〇万円を計上した。

4. 青少年の国際交流の推進

青少年の広い視野を養い、異なる文化を持つ人々と共に協調していく態度などを育成するとともに、国際交流を通じ、相互理解を深め、多様な文化の理解に向けた契機を提供するため、青少年の国際交流促進費用として、四九〇〇万円を計上した。

5. 高校生の国際交流の促進

地方公共団体や学校、民間団体等が実施する海外派遣プログラムに参加する高校生に対し、都道府県を通じて留学経費の支援や都道府県における留学機運の醸成、日本語を学ぶ外国人高校生の短期招聘を行うため、一億四一〇〇万円を計上した。また、アジア諸国を中心に日本語を学ぶ高校生を日本の高校に招聘し、国際交流を深めるとともに、留学生と日本人高校生が交流する国際交流キャンプを開催し、国際的に活躍できる人材育成を推進するため「アジア高校生架け橋プロジェクト+」（新規）実施に係る経費として一億七六〇

〇万円を計上した。

6. 外国人児童生徒等への教育の充実

帰国・外国人児童生徒等の公立学校への受入体制や日本語指導体制等の充実を図るとともに、就学に課題を抱える外国人の子供の就学を促進するため、必要な支援を行う自治体に対する補助を行う。また、教育委員会等へのアドバイスや教員研修の充実のための「外国人児童生徒等教育アドバイザー」の派遣、外国人児童生徒等教育支援のための情報検索サイト「かすたねつと」の整備、外国人の子供の就学状況等の実態調査の実施など、教育支援に係る基盤整備の取組を進める。さらに、児童生徒の日本語能力を評価するための能力記述文の作成や散在地域におけるICTを活用した体制づくりのための調査研究、高校段階における「特別の教育課程」の編成などによる日本語指導を行っている事例の収集及び周知、教員等を対象とした研修の実施など、外国人児童生徒等の教育の充実を図るため、十一億九六〇〇万円を計上した。

2023年度文部科学省海外子女教育関係予算額一覧（政府原案）

（単位：百万円）

区 分	2022年度 予算案	2023年度 予算	差引増減	備 考
1. 在外教育施設教員派遣事業等	16,958	17,697	739	1. 在外教育施設教員派遣事業 計20人増 2. 在外教育施設派遣教員経費の委託 3. 在外教育施設派遣教員選考・研修等
2. 海外子女教育推進体制の整備	77	97	20	1. 在外教育施設認定調査 2. 在外教育施設安全管理体制の構築 3. 在外教育施設教育支援事業 4. 在外教育施設重点支援プラン 5. 帰国教師ネットワーク構築事業 6. 在外教育施設幼稚部等調査
3. 海外子女教育活動の助成	137	133	▲ 4	在外教育施設教材整備事業補助 等
4. 青少年の国際交流の推進	51	49	▲ 2	1. 青少年国際交流推進事業 2. 地域における青少年の国際交流推進事業 3. 企画推進委員会の開催
5. 高校生の国際交流の促進	631	320	▲ 311	1. 国費高校生留学促進事業 2. グローバル人材育成の基盤形成事業 3. アジア高校生架け橋プロジェクト(+)
6. 外国人児童生徒等への教育の充実	1,132	1,196	64	1. 帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業 2. 外国人の子供の就学促進事業 3. 日本語指導が必要な児童生徒等の教育支援基盤整備事業 4. 多文化共生に向けた日本語指導の充実に関する調査研究 5. 高等学校における日本語指導体制整備事業
合 計	18,986	19,492	506	対前年度比2.7%増

※百万円未満四捨五入のため、各項目の合計と合計欄の金額は一致しない場合がある。

「補習授業校運営委員長会議&マジきら会議二〇二二」をオンラインで開催

（海外子女教育振興財団）

海外子女教育振興財団（JOES）は、昨年九月に日本人学校を対象に運営委員長会議を実施したのに続き、二月九日と十日の二日間にわたって、世界各地の補習授業校を対象とした「運営委員長会議」と「マジきら会議（マジメな話をさらにする会議）」をオンラインで開催した。

時差と学校数を考慮して会議は五回実施され、計一〇〇人を超える関係者が参加した。

運営委員長会議のテーマはそれぞれ「教職員の確保」「運営の安定」「政府支援」「特色化取り組み事例」の紹介、「オンライン授業の導入」。冒頭にJOESの小林栄三会長と綿引宏行理事長がいさつに立ったほか、国会議員で在外教育推進議員連盟の遠藤利明会長が国の立場から、文部科学省と外務省が政府の立場から、それぞれ熱いメッセージを寄せた。

その後、参加した学校の数校が各回のテーマに沿った自校の取り組みについて具体的に紹介し、質

疑応答や意見交換が活発に行われた。

続く「マジきら会議」では、司会進行を務めた綿引理事長も自らネクタイを外し、雰囲気を変えて「マジメな話」を「きらく」にするフリーディスカッションに入った。

いろいろな課題が浮き彫りになったが、情報や悩みを共有することでヒントや勇気をもらえた学校も少なくなかったようだ。

終了後、参加者からは「補習校の規模を超えて共通する悩みがあること、今後はJOESおよび補習校がつながり、教育をサポートしていくプラットフォームを構築していくこと等が、世界の補習校を支える力になるのだと実感した」などの感想が寄せられている。

こうして「つながり」を持つことで生まれる一体感、モチベーションが「海外子女教育」をますます充実させ、「在外教育施設教育振興法」の対象をさらに広げる改正法の成立へと向かわせていくのだろう。

補習授業校、そして海外子女教育、さらに日本の「未来」が楽しみになる熱い二日間となった。

二〇二三年度日本人学校等学校採用教員内定者等の研修をオンラインで実施

（海外子女教育振興財団）

海外子女教育振興財団は日本人学校等学校採用教員内定者等に向けて、事前に動画による講義を配信し、二月二十六日にオンラインでライブ研修を行った。

学校採用教員とは日本人学校等の現地採用教員のうち、本財団による支援制度を通じて採用される教員のこと。二三年度の内定者は一二四人、赴任先はアジアの日本人学校を中心に三十校にわたる。今回の研修にはさらに東京学芸大学推薦合格者や文部科学省ブレ派遣教師も加わって実施され、合計一二八人が参加した。

研修のおもな目的は、「海外渡航に必要な準備を行う」「海外子女教育、日本人学校等について理解し、教員としての心構えを認識する」「日本人学校等の教員として求められる基本的な心構え、具体的な指導方法等について学ぶ」こと。参加者は事前に動画で配信される講義を視聴してから、当日のライブ研修に臨んだ。

事前の講義は「在外教育施設の

現状と期待」について文部科学省総合教育政策局国際教育課国際調整企画官の田中秀和氏、「教師としての基礎的素養」「教科等指導の基本的な授業の進め方」について東京学芸大学附属大泉小学校副校長の細井宏一氏、「学級経営」「生活指導」「危機管理」について東京学芸大学教職大学院教授の赤羽寿夫氏、「特別支援教育」については国立特別支援教育総合研究所主任研究員の小澤至賢氏が担当し、二月十日から三月三十一日まで配信された。

二十六日の研修では海外子女教育振興財団の綿引宏行理事長が動画でメッセージを寄せ、参加者たちにエールを送った。

続いて、北京日本人学校の細野輝彦校長とシンガポール日本人学校クレメンティ校の石坂克己校長がそれぞれ「在外教育施設の現状および日本人学校等の教員として期待されていることや心構え、赴任前にしておくべきこと」に関して講義したほか、クリスタル・チルドレンの佐々木恭子氏による「海外赴任メンタルヘルスに関する講話」、東京学芸大学附属国際中等教育学校教諭の高松美紀氏による講話「授業技術の基礎」が行われた。

その後、赴任地別に分かれてのランチミーティングがZoomで行われ、参加者たちは赴任後の「仲間」同士で親交を深めた。

午後からはそれぞれが希望の教科等(国語／算数・数学／社会／理科／特別支援教育／道徳／外国語(英語)／音楽／道徳)に分かれてワークショップに参加した。目的は、授業構成・運営や授業づくりに生かせる指導方法といった基本をグループワーク等から身につけること。

各グループではそれぞれ、現職の教師や大学・大学院の教授らが講師となり、きめ細かなサポートが行われた。

参加者からは、「いま赴任されている校長先生や海外子女教育に詳しい先生がたから心構えや指導方法、赴任前にすべき準備等について具体的に教えてもらえたのはたいへん有意義だった」「事前に課題の動画を配信してもらえたのは、見返すこともできてとても参考になった」「いっしょに海外に行く人たちと事前に交流できたのがよかった。不安が軽減して赴任するのが楽しみになった。渡航までの間、情報を交換し合いながら気持ちを高めていきたい」などの声が寄せ

られた。

JETプログラムキャリアフェアに参加 (海外子女教育振興財団)

海外子女教育振興財団(JOES)は二月二十六日(東京)と三月四日(大阪)にJETプログラムキャリアフェアに参加した。

JETプログラムとは「語学指導等を行う外国青年招致事業」のことで、総務省や外務省、文部科学省および自治体国際化協会(CLAIR)の協力により実施されている。外国の青年を招致して地方自治体等で任用し、外国語教育の充実と地域の国際交流推進をはかることが目的である。

このキャリアフェアはJETプログラムの参加者が日本での就職を実現させるきっかけとなる場を提供するために行われている。

今回、JOESは日本人学校等での外国人指導者採用に関して紹介するために参加し、関心を示した来場者に向けて実際の仕事の内容や在外教育施設に関して説明を行った。

JETプログラムの任期終了後後も日本で活動したいという希望者

が多いなか、「数年後、母国に帰国した際の働き方の一つとして考えたい」という来場者の姿も見られ、JOESは今後も積極的に本活動を進めていく予定。

海外で使用する教科書の無償配付について (海外子女教育振興財団)

海外滞在予定が一年以上(永住は除く)の日本国籍を持つ小・中学生は無償で教科書を受け取ることができます。

ただし、現地到着当初に使用する教科書は海外では用意されていませんので、かならず出国前に海外子女教育振興財団で受け取ってください。

その後の海外滞在中の教科書に關しては在留地を管轄する在外公館(大使館・総領事館等)が配付を統括しています。

現地に到着しましたら、速やかに在外公館に「在留届」を提出し、教科書受領のための手続きを行ってください。

詳細については本財団のウェブサイトをご覧ください。

問い合わせ先

海外子女教育振興財団

情報サービスチーム

TEL 03-4330-1349

E-mail textbook@joes.or.jp

URL <https://www.joes.or.jp/>

kyokasho

海外子女がインディアナ州政府主催の作文コンテストで第一位を受賞

インディアナ州政府主催のインディアナ州在住の小学四年生全員を対象とした作文課題「Living in Indiana」において、南インディアナ補習授業校、当時小学三年生だった堀田悠翔さんが応募総数約一二〇〇点の中から第一位を受賞した。

日本からインディアナ州に来て、同州のいちばんの魅力は「フレンドリーな人々」だと、実際の経験をもとに生き生きと書かれている。

インディアナ州議事堂でとり行われたインディアナ州制定記念日の式典内での授賞式では、州の四年生を代表してスピーチした。

受賞作文：

<https://www.in.gov/library/icb/statehood/>

授賞式：

<https://youtube.com/3wrn5LdIGA>

教育相談

お子さんが安心して海外で教育を受けられるよう、教育に関する最新情報をもとに海外・帰国子女教育専門の教育アドバイザーがオンライン・メールにて相談におこたえます。

面談相談・オンライン相談は1家族1時間、予約制です。

相談料は、本財団の企業・団体会員とそこご家族の場合は無料、それ以外のかたの場合は¥9,000です（初回相談から1年間有効）。

学校説明会・相談会

小学校から高校段階までのお子さんとその保護者を対象に、帰国後の学校選択における悩みや不安の解消、国内の帰国生受入校の情報提供等を目的とした、学校説明会・相談会を開催します。実施内容や申込方法につきましては詳細が決まり次第、ウェブサイトでご案内します。

日本の教科書の無償配付

文部科学省から依頼を受け、これから出国するお子さんに日本の教科書をお渡ししています。

※海外滞在中のかたに関しては、在外公館（大使館・総領事館等）が管轄しています。

講習会

●赴任前子女教育セミナー（オンライン）

「初めての海外赴任、子どもの教育について心配……」

海外・帰国子女教育専門のアドバイザーによる講話で、出国前から滞在中、帰国後に至るまでの教育の流れがつかめます。

●アメリカ現地校入学オリエンテーション（東京・名古屋・大阪・オンライン）

「海外の学校ってどんなところかな？」

アメリカの現地校へお子さんを通わせる予定のご家族を対象に、「親クラス」と「子どもクラス」に分けて、スムーズに学校生活を始められるようなプログラムを組んでいます。

●渡航前配偶者向け各種セミナー（東京）

「海外赴任が決まったけれど、何を準備すればいいのかしら？」

＜出発前準備セミナー＞ 行動計画を立てて準備することを学びます。また元駐在員配偶者から具体的な話を聞きます。

＜メンタルヘルスセミナー＞ 海外では日常生活のなかで異文化に触れ、現地の言語を使うことになりませんが、もちろんストレスがかかります。専門家や経験者の声を聞くことで、事前にストレスを回避・軽減することができるセミナーです。

＜赴任地別懇談会＞ 出国先はどんなところか……初めての赴任であれば誰もが抱える不安は経験者の話を聞くことで解消・軽減できます。現地での生活に関することをオンラインかつ少人数で話せるため、「具体的なことを聞いた」と好評をいただいています。

●渡航前子ども英語教室（東京・オンライン）

現地校やインターナショナルスクールでの「最初の1カ月」を乗り切るためのサバイバル・イングリッシュと、英語を読むための基本を学習します。また外国人講師による模擬授業もあります。



お問い合わせ先

公益財団法人海外子女教育振興財団

<https://www.joes.or.jp>

【東京本部】〒105-0002 東京都港区愛宕1-3-4 愛宕東洋ビル6階 TEL 03-4330-1341



《滞在中》

海外子女のための通信教育

海外でもしっかりと日本語で学習に取り組めるプログラムを用意しています。現地校やインターナショナルスクールで忙しいお子さんが無理なく学習を継続するために、「これなら続けられる」という内容で着実な学力育成をねらいとしています。また就学前のお子さんには、母語である日本語に楽しく触れてもらうため、年齢に適した厳選された日本の絵本をお届けする配本サービスを用意しています。家庭で日本語の土台をしっかりと築くことが大切な時期に、お役立ていただけます。

●小・中学生コース（文部科学省補助）

＜国語・算数/数学コース＞ 対象：小1～中3

海外子女用の教科書を使って進める、基礎・基本を身につけるための学習内容で、自分自身で学習を進めることができるようになっています。国語は、日々の学習にブック教材と「学習の進め方ガイドブック」、そして補助教材^{※1}がついています。算数/数学は、日々の学習にインターネット教材を採用。共通の添削問題では、毎月の学習内容が身についたかを確認することができます。返送される添削問題等は、海外の受講生の状況を理解している添削指導者が丁寧に指導してお返しします。

※1 語彙力・漢字力をつけるための教材が^{※2}ついているほか、正しい日本語に触れていただくための朗読音声を受講生専用サイトからダウンロードして活用できます。

※2 算数/数学のインターネット教材は、以下の理科・社会コースの教材と同様です。

＜理科・社会コース＞ 対象：小3～中3

インターネット上で学習するコースで、受講生専用サイトへログインすると、単元ごとの解説を日本語音声による動画で授業のように見ることができ、画面上でチャレンジできるさまざまな問題が用意されています。学習でわからないことなどを気軽に質問できる機能もついています。また「学習ノート」をプリントアウトして活用できるので、記述式の学習で理解や確認をサポートします。

●幼児コース 対象：0～6歳

読み聞かせを楽しんでいただくコースで、0歳向けには絵本を一括送付、1～6歳向けには6カ月ごとに絵本[※]おはなしの本を送付します。配本のほかに、保護者向けの通信やレポート、4～6歳のお子さんには「線あそび」「文字あそび」、ほかに工作あそびなどの付録と課題のシートがつきます。配本予定の絵本のなかに、すでにお持ちのものがあれば差しかえます。

★算数/数学、理科・社会のインターネット教材は無料体験版をお試しいただけます。



無料体験版

《帰国後》

帰国子女のための外国語保持教室

帰国子女が海外生活で身につけた語学力を保持していくことを目的に、首都圏・中部・関西・オンラインで開設しています。リラックスして楽しめる雰囲気と、独自の理論に基づく運営を特色とするこの教室では、1,500人ほどの小学生～高校生が学んでいます。オンラインコースも設置しており、日本全国どこからでも受講いただけます。

対象言語

…英語、フランス語（オンラインのみ）

募集対象

…年中～高3までの基準の語学力を有する帰国子女。

講師

…ネイティブスピーカーまたはバイリンガルの講師が指導に当たります。

特徴

…年齢にふさわしい総合的語学力を維持することを目標としています。週1回の授業は、語学力の質を高めるために不可欠な読む力・書く力の強化と会話を通してのコミュニケーション力の強化を目的に構成しています。

…ライティングやパブリックスピーキングなどテーマを絞って学習する教科コースもあります。

…クラスは日本の学年を基準に分け、さらに入室テストの結果により3段階のレベルに分けて編成しています。

…2023年度より年中から小6を対象の新コースを開設します。

教室

…首都圏（新宿、川崎、愛宕）／中部（名駅、豊田）／関西（大阪）／オンラインコース（ご自宅からインターネット上で受講できます。）



★「日本語検定」は、親子がいつしよに学び、楽しみながら挑戦できる検定です。検定問題への挑戦を通じて、日本語の運用能力を鍛えましょう。

挑戦!!

にほんの

日本語検定



「おおらが」は、
どんな様子を表す
言葉かな?



公式キャラクター
にほん

【言葉の意味編】

4

級

(中学校卒業レベル)

問

次の見出しに掲げた言葉は、一方の文では適切に使われていますが、もう一方の文では適切に使われているとはいえません。適切に使われているほうの文を選んで、番号で答えてください。

一 【おおらか】

- ① 私の祖父は、細かいことをいちいち気にしないおおらかな性格の人だ。
- ② 大学受験を来年に控えた兄は、夏休み中のおおらかな学習計画を立てた。

特定非営利活動法人

出題：日本語検定委員会

5

級

(小学校卒業レベル)

問

一、二の（ ）に入る言葉として、最もふさわしいものはどれでしょうか。番号で答えてください。

一

図書室の本は、決められた分類記号に従って（ ）
されて書棚に並んでいる。

【① 受理 ② 代理 ③ 整理】

二

宿題の読書感想文の（ ）だけは考えたが、なかなか書き始める気にならない。

【① 構図 ② 構成 ③ 構内】



令和5(2023)年度第1回日本語検定(準会場)―日本語検定委員会主催

6月9日(金)・10日(土)(海外は8日(木)・11日(日)も実施可)

申込期間…3月1日(水)～5月12日(金)

お問い合わせ・資料請求はこちら

Email info@nihongokentei.jp URL <https://www.nihongokentei.jp>

後援：文部科学省／全国連合小学校長会／全日本中学校長会／全国高等学校長協会／日本PTA全国協議会／日本商工会議所／経団連事業サービス 他
特別協賛：読売新聞社 協賛：時事通信社／東京書籍 他

6

級

(小学校4年生レベル)



問 一〜三のようなことを言うとき、() に入る言い方として、最もふさわしいものを選んで、番号で答えてください。

一 父はとても () が広くて、町でいろいろな人に声をかけられる。

- 「① 顔 ② 手 ③ 足」

二 ちりも積もれば () となるで、毎日三字ずつ新しい漢字を覚えていいたら、一年で千字以上も覚ええられる。

- 「① 森 ② 岩 ③ 山」

三 遊ぶ前に宿題をすませるようにと、いくら母が言っても、() で、弟はすぐに遊びに行ってしまう。

- 「① ねこに小判 ② 泣きつづらにはち ③ 馬の耳に念仏」

7

級

(小学校2年生レベル)

問 一〜三は、アの——の言葉と反対の意味を表す言葉を、イの() に入れると、意味の通じる文になります。() に入る言葉を□ からえらんで、番号で答えてください。

一 ア ぼくは、姉よりもおこづかいがすくないので、姉がうらやましいです。

イ この道路は車が() ので、気をつけてわたらなければいけません。

二 ア 母は毎朝、朝ごはんのときに、あついコーヒーをのみます。

イ わたしは、朝おきると、() 水で顔をあらいます。

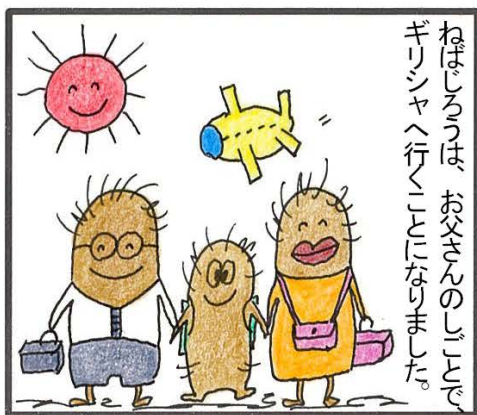
三 ア 水を入れたじょうろはおもいので、はこぶのがたいへんです。

イ タンポポのわた毛は() ので、風にのってとんでいきます。

- ① はやい ② おおい ③ つめたい ④ かるい

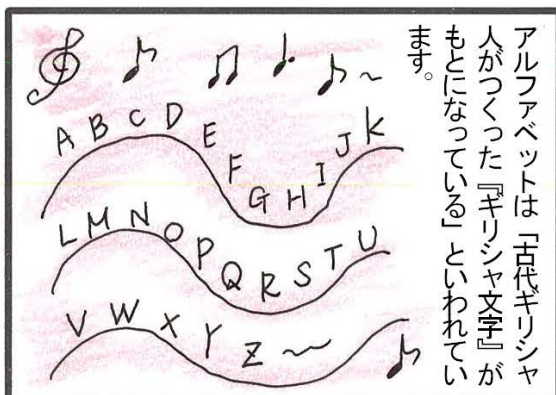


答えは50ページにあります。



ねぼじろうは、お父さんのしごとで
ギリシャへ行くことになりました。

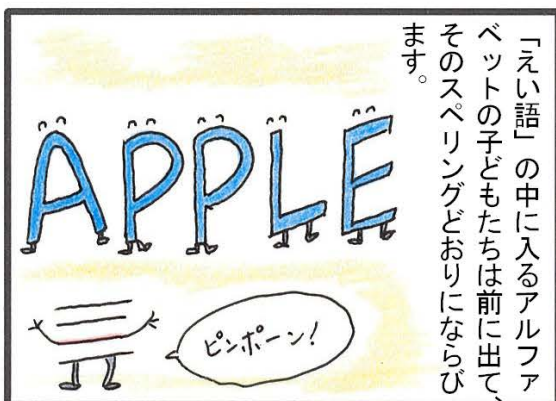
なっとう ねぼじろう ギリシャへ行く



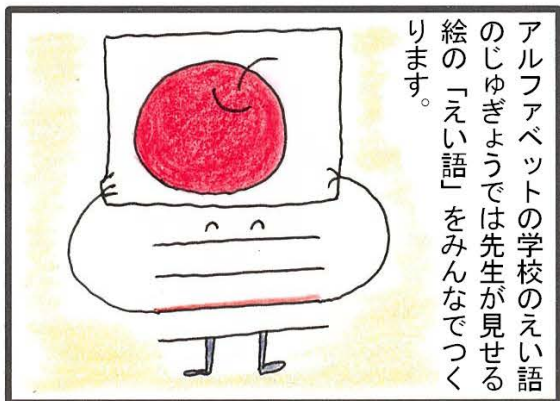
アルファベットは「古代ギリシャ
人がつくった『ギリシャ文字』が
もとになっている」といわれてい
ます。



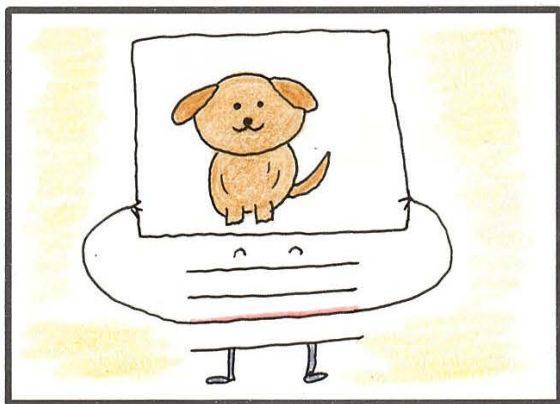
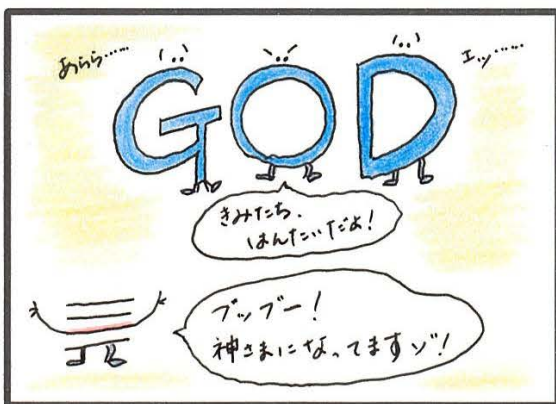
ねぼじろうは、アルファベットの
学校に入りました。

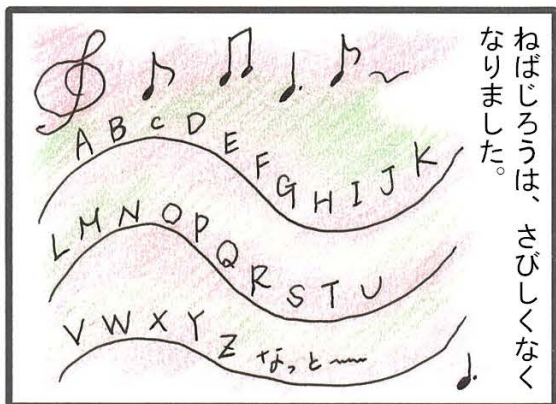
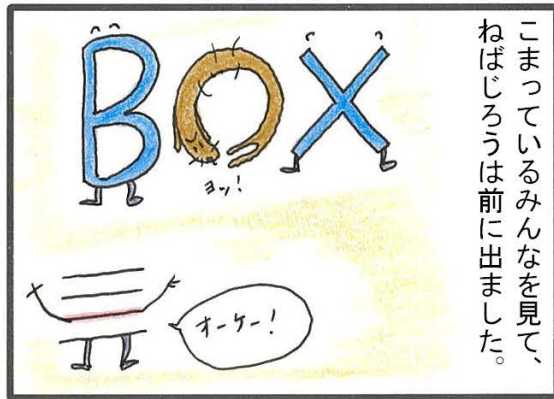
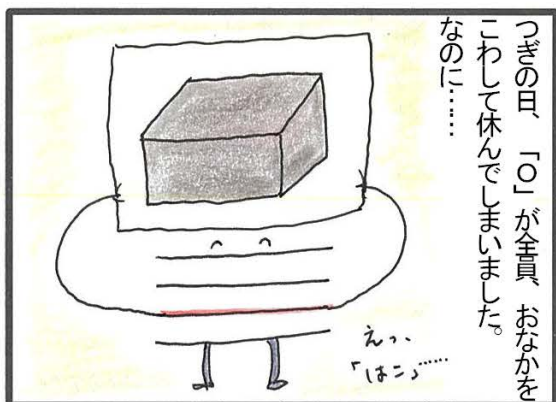
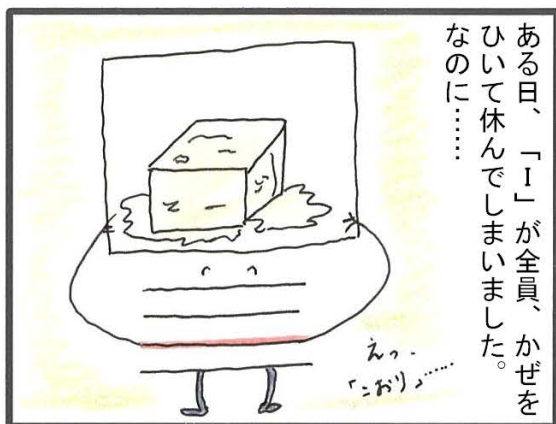


「えい語」の中に入るアルファ
ベットの子どもたちは前に出て、
そのスペリングどおりにならび
ます。



アルファベットの学校のえい語
のじゆぎょうでは先生が見せる
絵の「えい語」をみんなでつく
ります。





編集後記

◎真新しい制服やスーツに身を包んだ若者たちが眩しい新年度。「新生活」を迎えなくなって久しい私には目で刺激をもらえる嬉しい季節だが、こちらも「先輩」として刺激を与えられる存在にならないと……。(松)
 ♣第一特集のためにライターチームでブレインストーミングを行ったとき、気安く「ペラペラ」という表現を使う人は外国語と接していないよね、との指摘が出た。はたして「ペラペラ」とはどういう意味か。(淳)
 ＊グローバル人材、コミュニケーション力……。英語への誘惑は果てしない。でもその流れの中で現地の言葉に接する機会が失われているとしたら残念。多様な言語それぞれが放つ魅力、面白さ、世界の広がり。(然)
 ＊今年のWBCで一躍有名になったのが、日本代表として戦ったスートバー選手だ。米国籍だが母は日本人。拔群の打撃センスに加え、侍ジャパン勝利のために入魂のプレーをする姿が共感を呼んだのだろう。大切なことを教わった気がする(島)

5月号「特集」の予定は…

- つながる在外教育施設
- 教えて先輩!

2023年4月号 No.602

発行 2023年4月1日

発行人 綿引 宏行

編集人 島田 誠一

公益財団法人

発行所 海外子女教育振興財団

〒105-0002 東京都港区愛宕1-3-4
愛宕東洋ビル6階

制作協力 Roots International

(株)東京美術

※無断での改変・再販を禁ず。

※本誌購読料は、財団維持会員の場合は会費に含まれます。

■ 投稿募集ほか ■

本誌への投稿や関連情報の提供を随時受けつけています。

お名前とご連絡先を明記のうえ、「月刊『海外子女教育』編集部」宛として、E-mail、FAX、郵便のいずれかでお送りください。

◎海外・帰国子女教育、国際教育関連の論文やエッセイ、研究レポート

◎海外・帰国子女教育、国際教育関係の研究発表会などの催しのご案内

◎連載「家族/クロスカルチャー」取材対象家族を募集しています。

海外生活にまつわるご家族のエピソードをお聞かせください。

◎「みんなの広場」タイトル文字、作文・詩・短歌・俳句、習字・イラストなど。

大人のかたの投稿(1200字以内)も大歓迎です。

※掲載・不掲載にかかわらず、作品は返却いたしませんので、ご了承ください。

※掲載作品に関する著作権は本財団に帰属することとします。

※二重投稿はご遠慮ください。

※お知らせいただいた個人情報は、作品掲載以外の目的では利用しません。

1都1道2府43県めぐり クイズ解答

①C ②A

挑戦! にほんごの日本語検定 解答・解説

<4級>

一【正解/①】

【おおらか】…人に接する態度が寛容で、細かいことにこだわらない様子をいう言葉で、①の使い方が適切です。②は、物事の大体のところだけを押さえている様子をいう、「おおまか(な)」などとするのが適切です。

<5級>

一【正解/③】

ばらばらな状態にあるものを、種類や性質ごとにまとめてきちんとすることという意味を表す、③「整理」が適切です。

二【正解/②】

文章などで、いくつかの要素をまとまりのあるものに組み立てること、また、まとまりのある組み立てという意味を表す、②「構成」が適切です。

<6級>

一【正解/①】

①「顔」が適切です。「顔が広い」は、多くの人と付き合いがあり、知り合いが多い様子をいいます。

二【正解/③】

③「山」が適切です。「ちりも積もれば山となる」は、ほんのわずかなものでも、積み重ねていけば、やがては大きなものになる様子をいいます。

三【正解/③】

③「馬の耳に念仏」が適切です。馬にありがたい念仏を聞かせてもむだであるように、いくら言い聞かせても、全く聞き入れようとしない様子をいいます。

<7級>

一【正解/②】

「すくない」の反対の意味を表す言葉は、②「おおい」です。アの文では、自分のおこづかいが姉のおこづかいとくらべてすくしくないことを言っています。イの文では、この道路を走っている車の数がほかの道路を走っている車の数とくらべてたくさんあることを言っています。

二【正解/③】

「あつい」の反対の意味を表す言葉は、③「つめたい」です。アの文では、コーヒーの温度が高いことを言っています。イの文では、顔をあらう水の温度がひくいことを言っています。

三【正解/④】

「おもい」の反対の意味を表す言葉は、④「かるい」です。アの文では、じょうろを持つのに大きな力があることを言っています。イの文では、タンポポのわた毛をとばすのにそれほど力がいらぬことを言っています。

本誌へのご意見・ご感想をお待ちしております。

海外子女教育振興財団 月刊『海外子女教育』編集部

●E-mail kikanshi@joes.or.jp

●TEL 03-4330-1350/FAX 03-4330-1355

●URL <https://www.joes.or.jp>

★ ユニヴァプレス

<https://univpressnews.com/>



東大合格者速報でおなじみの
大学通信が発信する学校情報。
わりと真面目に教育と学校と
その他の情報について
発信しています。

WEB限定記事

- 生徒が主体的につくりあげる駒場
東邦の学校行事修学旅行先はプレ
ゼン大会を通じて自分で決める！
- 日本一「面倒見の良い」女子大
学、岐阜女子大学に行ってみた！
- 「福祉」ってなんだろう？
東北福祉大学で聞いてみた。
- 専門家に聞いた！
理学療法士ってどんな仕事？

...etc



学 び を 未 来 へ
大学通信

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2-3
TEL.03-3515-3591(代表) FAX.03-3515-3558
<https://univ-online.com/>

大学通信の情報力を集結した

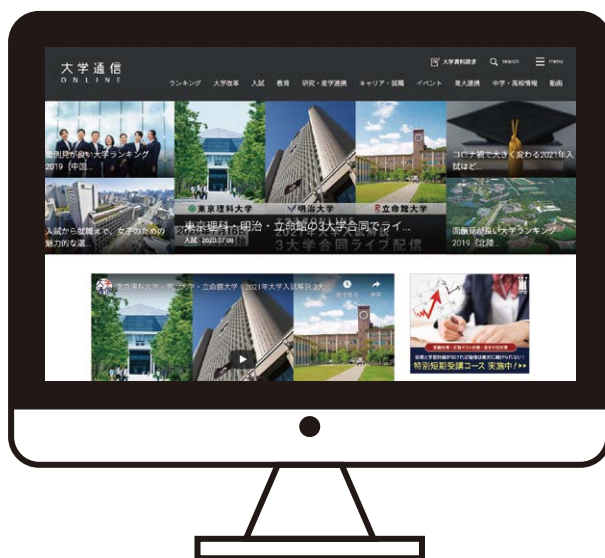
大学通信

O N L I N E

<https://univ-online.com/>

受験シーズンの話題を独占する「高校別大学合格者数」情報をはじめ、大学入試・進学に関する最新データやトピックスを

いち早く公開!



学 び を 未 来 へ

大学通信

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2-3

TEL.03-3515-3591(代表) FAX.03-3515-3558

<https://univ-online.com/>